京城日報

二十日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵稅一ヶ月金十五錢
廣告料金 ▲五號活字一行▲七號活字一行
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

◎日支協約批評
軍事協約は時局柄當然

日支軍事協約に關し北京外國公使館側の批評概要左の如し(北京特電)

英國側は曰く『該協約は彼の日支交渉第五項の如きものに非ざるは既に知られ居れり日支兩國が極東の維持に當るは勿論にして協約も亦必要ならん唯其範圍を超ねざらん事を希望す』佛國側は曰く『日本は極東の主人公なり東洋平和維持の責任者たり兩國の協約は當然にて吾人は何等の疑惑を抱かず唯病人の如き西伯利に對し其の療法を誤らざらん事を欲す』露國側は曰く『協約は西伯利に關せず滿洲に關せるものと信ず從つて何等の意見無し』

◎日支軍事協約通告

聯合國は日支兩國間に極東に於ける今後獨逸の跳梁威脅に對し相提携して事に當らんとするの目的を以て純然たる軍事協約締結されたりとの通告に接せり(巴里電報)

◎獨墺土同盟締結か

獨墺同盟は更に土耳古にも擴張締結せらるべし(倫敦電報)

◎佛軍高地奪還

佛軍はチークブシユ湖南方の四十四高地に於ける敵軍を擊攘し同高地を奪還せり(倫敦電報)

◎ス運河旋回橋竣工

スイズ運河のカンタラに架したる旋回橋は十五日竣工せり是れに依りカイロよりパレスチナに至る鐵道は直接に連絡する事となれり(カイロ電報)

『附記』カイロは埃及の首府、埃及王、英國總督此處にあり　パレスチナは亜細亜土耳古地中海の東岸西方沿岸の地を特にパレスタインと稱し猶太教徒、基督教徒、回教徒の聖地、昔フエニキア等古國ありし處なり

◎湖南全線兵力增加

北督軍は湖南全線の兵力增加の爲め又復二十七師の第五團全部を出動するに決し一兩日中に出發せしむ可し(奉天特電)

◎南征殘部隊武昌行

南征せし奉天混成第三旅の殘部隊三箇營千五百名及び機關銃隊一聯は十八日夜京奉線にて武昌へ向け出發せり(奉天特電)

◎ハリス博士

ハリス博士は十八日夜奉天通過大連へ赴むけり(奉天特電)

◎總督雄基滯在

十八日雄基に著し一泊したる長谷川總督一行は十九日同地出發の筈なりしも同地方風雨の爲め尚一日滯在せり

◎郵貯規則改正

郵便貯金規則中改正の件は二十一日附總督府官報を以て府令にて發布即日施行すべし

◎水産檢查規則

朝鮮水産檢查規則は朝鮮總督府令を以て二十一日總督府官報にて公布さるべし

◎稅關長會議

稅關長會議第一日は鈴木度支部長官統裁の下に二十日午前九時より總督府第一會議室に於て開會されしが長谷川總督赴任前なりしを以て豫定の日程を變更し午前午後を通じ協議事項の協定あり午後三時散會せり因に變更せる日程左の如し

二十日協議事項▲二十一日同上▲二十二日同上▲二十三日總督訓示同諮問事項▲二十四日總督指示諮問事項

◎典獄會議日程

典獄會議は既報の如く六月三日より八日迄總督府第二會議室にて開催さるべきが其日程左の如し

六月三日午前訓示及諮問事項午後協議事項▲四日午前諮問事項午後同▲五日午前同上午後同▲六日午前諮問事項午後同▲七日午前諮問事項午後同▲八日午前總督指示及提出意見に對する內示

◎慈惠院長會議

全鮮慈惠醫院長會議は本月二十九日より三十一日迄三日間午前九時より正午迄總督府第二會議室に於て宇佐美內務部長官統裁の下に開催さるべし

◎國債應募狀況

二十日より朝鮮銀行本支店にては五分利附國庫債券五千萬圓の賣出しを開始したるが本店に對する申込みは一兩日前より豫約數口あり二十日も朝來ボツ〳〵應募あるが午前中大口は一萬圓一口のみに留まり尚ほ銀行側の應募も若干ある見込みなりと

◎戰時利得稅令施行規則
廿一日府令を以て發布、全文十二條

戰時利得稅令施行規則は廿一日府令を以て發布さるべきが同令は全文十二條より成り其施行期は既に制令を以て發布されたる戰時利得稅令と同樣にして規則の要旨は左の如し

一、戰時利得稅令第三條第一項第二號に船舶とあるは其屬具を包含すること

二、法人の平時事業年度の平均所得金額は平時事業年度の總數を以て合計所得金額を計算すること

三、法人の各事業年度の資本金額は左の各號に依り之を算定す

(イ)合名會社又は合資會社に在りては各月末に於ける出資金額、各種の積立金額、其他名義の何たるを問はず積立金の性質を有する資產、金額及び借入金を有するときは其出資金額を超過する金額の月割平均を以て計算し

(ロ)其の他の法人に在りては各月末に於ける拂込株式金額、出資金額及各種の積立金額其他名義の何たるを問はず積立金の性質を有する資產金額の月割平均を以て計算し繰越缺損金あるときは其の各月末に於ける金額の月割平均を以て之を計算し資本金額より控除すること

四、戰時利得稅令第二條(即ち朝鮮に居所住所を有せざるもの)に該當する法人又は戰時利得稅を課すべき利得の基本たる所得其他の所得とを有する法人の資本金額の算定に付ては利得金額計算の所得金額に相當する資本金額を見積りて計算す

五、同令第七條第一項の規定に依り船舶又は鑛業に關する權利若は設備の賣却金額より控除すべき價額の算定法は左の如し

船舶(イ)大正三年七月三十一日以前より納稅義務者の所有に屬するものなるときは大正三年七月中に於ける見積平準價額、大正三年八月一日以後の設備費、改良費及び賣却に關する必要の經費を計算す

(ロ)大正三年八月一日以後の製造又は取得に係るものなるときは其製造費又は取得に關する必要の經費を計算す但し取得價額の不明なるときは取得の日に於ける見積價額を以て取得價額と見做す

鑛業(イ)大正三年七月三十一日以前より納稅義務者に屬し又は大正三年七月中に於ける見積平準價額及び賣却に關する必要の經費を計算す

(ロ)大正三年八月一日以後の取得に屬するものなるときは其の取得價額並に取得及び賣却に關する必要の經費を計算す但し取得價額不明なるときは取得の日に於ける見積價額を以て取得價額と見做す等にして納稅義務者は利得の種類、金額、其他を具し所轄府尹、郡守、島司等に申告、納稅義務者にして朝鮮に住所居所を有せざる者は納稅地を定めて同樣申告、但此場合法人に在りては所得稅の納稅地を以て戰時利得稅の納稅地と爲すべく規定されたり

◎外米移入と朝鮮米

▲外米移入可能　十七日農商務省令第十六號の發令により外米管理令に基き政府の補給を受けし外米の朝鮮移入は政府の許可を受けたる場合可能となりし右發令の理由に付某氏は曰く政府が何程の外米を朝鮮に移入せしむるかは全くその手心如何にありと云ふべく內地にて漸く賣出しを開始せんとする昨今騰測を懼るも要するに多量の外米を朝鮮に供給する事はなかるべし、何となれば鮮米の內地移出餘力を多からしめん爲外米の朝鮮移出を許す者とすれば多少の米價調節の效果を薄からしむべく又朝鮮が米價の高きに苦しみつゝあるための移出許可とすれば首肯されざる節あり乃ち鮮米の價格は多くの場合內地米價に左右されつゝあり內地の米價が下押せば鮮米も從つて低落す鮮米の低落は內地米價の押へにて足れり又格別に外米を輸入してまで鮮米を引下ぐる必要あるや否やは問題ならん要するに今回政府の手に朝鮮並に臺灣への外米移出許可權を收めたるは取締くのみにて多くの移出をなさしめんとするものに非ざるべし、若し許可するとしても數量は少額ならん而分管理令により內地に輸入すべき外米の總數量が二百萬石內外なるより見るもかく信ぜざるを得ざる也

▲鮮米賣込好機　政府が今回鮮臺方面に管理外米の移入を許可する事となりし眞意の如何は姑らく措き此の際安價なる外米を朝鮮に若干にても移入し朝鮮米の移出餘力を幾許にても增し內地各方面に鮮米賣込策を講ずる又と得難き好機會にして斯かる際に內地に於ける鮮米の市場を開拓し置くべしとの意見京城有力米商間にあり目下外米朝鮮移出に對する政府の意向等問ひ合せ中なるが唯何程鮮內に外米の需要を惹起すべきかは大なる疑問たる如し假りに關門より朝鮮に外米を移入すとせば運賃關稅を合して石二十二圓內外なるべく結局朝鮮米の價格が現狀を維持するものとせば多少の需要は起り來るべきも米價低落傾向の著しき際鮮白米の如き石二十三四圓臺に落ちてはその差一二圓に過ぎざるに付外米の喰ひつきは多からざるべしとの事なり但し鮮米價格の前途と外米價格との比較問題は問はず前述の如く鮮米移出餘力を若干にても增加せんとの主旨より外米移入計畫は大手筋にありと

◎米豆檢查講習

朝鮮に於ける米穀大豆檢查の客年府令を以て其規則を發布し全鮮を通じ統一的に實施されて以來輸移出米豆の品位著しく上進し從て內地市場にても聲價を昂めたり然れども檢查成績に就き仔細に之を調査すれば尚一層改善を要すべきもの無きにあらず殊に其鑑定格付の統一を圖るは此際最も緊切なる事項にして尚包裝の改良に付研究を要する點あるやにて當局に於いては來六月十一日より向三日間穀物の全鮮より且つ最も多量に集散する途由に於いて各道穀物檢查主任事若くは上席の檢查員を召集し實物に就て鑑定の講習を爲し併せて米豆の檢查に當りて之が改良に關する事項を協議し大正七年產米豆の檢查に當りて之が改良に關することゝ成れりと

◆協議事項

一、白米及び檢查實施の要否、要ありとせば檢查方法、檢查の程度、等級の區分、不合格米の處置如何

二、米穀及び大豆檢查の等級を大小粒に區分するの要否

三、容量檢查を最適確に施行する方法如何

四、大豆一叺に對する增量五合の適否如何

五、米穀及大豆檢查に繩結し繩叺檢查を行ふ必要無きや然し有りとせば其適當なる合格制度等級、繩及び俵の製造法如何

六、檢查有效期間九十日短縮の要無きや要有とせば其期間如何

▼鮮米移出餘力
野村三井米穀主任談

鮮米の內地移出餘力に付三井物產野村穀物部主任は曰く鮮米の移出力は最近兩三年の統計に徵するに年額百五六十萬石の間を上下し居れり而して大正六年產米の輸移出數量が既に統計に上りしかど云ふに昨年十一月より本年三月迄の輸移出數量(主として內地移出)は過般の貴紙に報せられたるが如く七十二萬石にして三月は十七萬四千石四月は約十四萬石と成り居るに付結局輸移出數量百二三十萬石となり猶ほ例年の例より推せば五六十萬石の餘力を存し居ると謂ひ得べく假令前記の如く二萬石の減少なきは可能ならん唯此上外米の移入により增加し得べき餘力は幾何に上るかは問題にして今日全く見當附け難し

◎浦鹽電線不通

十九日午後一時より京城浦鹽間電信線は北鮮慶興以北にて不通となれり原因は猶不明なりと

◎經理部員異動　十四日附

免本職補步兵第七十九聯隊附　經理部一等主計　伊藤金平

免本職補步兵第七十九聯隊附　經理部一等主計　大里三熊

免本職補野砲兵第二十五聯隊附

◎府郡書記會同

京畿道廳にては管內府郡主任書記會議を二十日より二十四日迄五日間會議室に開催日程左の如し

一日は長官訓示及び諮問事項答申順次報告▲二日諮問事項答申聽取▲三日提出意見に對する指示▲四日兵事々務打合▲五日事務打合せ

◎東拓移民表彰

東拓にては成績優良の移民を表彰する計畫ある事は既記を經しが殖民課にて一通り調査を了し目下又各出張所に對し照會中の由に付來月に入らば公表し得べしと但しその數は多からざるべし

◇九州見物（十六）
肥後米
磐溪生

肥後の名物は清正と肥後米なり、此兩者は肥後人が有する誇の兩横綱にて、一度肥後に遊びたる者にして、清正を誹せず、肥後米を語らざれば、肥後人より、迂濶漢と嘲けらるゝ虞あり。呵々。

◇肥後米は品質の優良なる點に於て、品種の統一せられ居る點に於て、調製の完全なる點に於て、古來聲價高く今に至るも上等米と言へば肥後米を聯想せしめつゝ有るが、其茲に至りたる原因を溫ぬれば、爲政者は勿論、米穀改良上の施設たる米檢に反對し竹槍蓆旗の騷ぎを演ずる農民などに對しては良教訓となる可し。肥後米產は

◇清正の治水策と水利事業に依つて急激に發達し、お米藏の施設さるゝに追んで、月の間に、自然的に品種の統一改良を促されたる者の如く、雜談、元より其沿革事業の內容等は審かにするを得ざりしかど、お米藏とは今の米券倉庫にて高瀨、川尻等の如き水運陸運の便ある土地に倉庫を設け、領內の產米を收藏すると共に

◇米券を發行し　一は凶年に備へ、一は金融機關となり、且つ大阪に移出して諸般の費用其他貿易上の決濟資金に充當せしめたりしもの、其の制度施設の進步せる驚く可き程にて、之が爲めに營農者は自家經濟上より上格米の生產に意を注がざる可らず、爲政者も藩の經濟上品種の改良、米產の普及發達を獎勵せざる可からざる關係上

◇上下目的を一にし、鞏意努力したる結果、遂に今日の如き優良米を產出するに至りしなりと、彼米券倉庫の如き、他縣に在りては障碍百出して容易に實施されざるも本縣に於ては圓滿に理想的に實施されつゝ有るが、こは御米藏の施設に依りて營農者は數百年前より傳統的に米穀檢查の趣旨に徹底し居たりしと、多年の經驗上品質の上下劃然として

◇統一され居たるとに因る。米穀檢查の實施を嫌ひ蹂躙すべし、米穀檢查の實施を嫌つて全村擧つて獄に投せられたる地方尠からざるを思へば肥後人を相手にする當局者は眞に天下太平なりと謂ふ可きか

◎醫師證書授與式

過日來總督府醫院內に於て施行せる朝鮮總督府醫師試驗合格者に對し二十日午後二時同所に於て芳賀委員長以下試驗委員參列の上證書授與式を行ひたり

◎朝鮮藥學會例會

朝鮮藥學會にては十九日午後七時より旭町二丁目山崎天祐堂試驗部に於て例會を開き兒島會頭吉木副會頭及び山口會員の講演あり會員多數の來會ありて各自意見を交換し十一時過ぎ散會せり

◎京畿學校林狀況

京畿道管內に於ける公私立學校の學校林に關し大正六年十二月末現在當局調査に據れば合計九十五箇にして此の總面積一千百四十一町六反餘步內植付濟面積三百七十町九反三畝餘植付本數百五萬四千五十八本に及べり今其の內譯を示せば左の如し

▲公立小學校　學校數三十一總面積二百七十八町九反五畝餘植付濟面積七十八町九反本數三十九萬九千二百五十八本

▲公立普通學校　學校數五十四を以つて總面積八百十一町二反二畝餘植付濟面積二百十五町七反七畝植付本數七十一萬七千四百八十二

▲私立學校　學校數十を以つて學校林總面積五十一町九反二畝餘植付面積六町二反餘步有し植付本數三萬七千三百十八本を示せり

右一學校に對する平均總面積を見るに公立小學校に在りては八町九反八畝餘、公立普通學校に在りては十五町二畝餘、私立學校に在りては五町一反九畝餘を示せりと

◎陸大生入京期

陸軍大學校職員生徒一行七十四名は二十二日午後七時十四分龍山驛著列車にて滿洲より來京する筈なるが引率職員は左の如し

校長陸軍中將淨法寺五郎▲兵學教官砲兵中佐阿部信行▲同步兵中佐筑紫熊七▲同騎兵中佐森▲副官代理步兵大尉大野史郎▲主計一等主計金地嘉吉▲軍醫一等軍醫荻本快吉▲大學在勤步兵中尉公爵大山柏

學生と職員とは觀察豫定を別にして市內を見學すべしと

◎福岡中學生通過

福岡縣東筑中學校五年生九十餘名は校長教員に引率せられ二十日朝著釜京城二泊平壤一泊の豫定にて直に北行せり(釜山特電)

◎石垣朝郵營業課長

新任朝郵營業課長石垣孝治氏は廿日午前著釜上特急發列車にて北行せり(釜山特電)

◎學生の郵便局觀覽

廿日福岡中學校生徒百五名及び京城協成神學校生徒卅名京城郵便局を觀覽せり

◎臼井辯護士母堂

辯護士臼井水城氏の母堂は七十二歲の老齡なるが十九日長崎市に於て永眠せり

◎師團長出張

第十九師團長立花小一郎中將は步兵第三十九旅團幹部演習視察の爲め大沼副官帶同二十五日午前十時龍山發列車にて北行新安州に向ふべし而して廿五日歸任後更に廿八日出發木浦、全州方面視察の途に就く豫定なりと

◎鹽澤大佐巡閱

鹽澤京畿道憲兵隊長は京城分隊及び驪州分隊管內巡閱の爲め二十日出發來る二十七日歸任の筈なり

◎藤山氏總督府訪問

十九日夜入京したる日本製糖會社長藤山雷太氏は二十日午前九時半總督府に山縣政務總監を訪問し入京の挨拶を爲したり

◎藤原正文氏東上

入京中なりし支那交通銀行顧問藤原正文氏は十九日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上す

◎久保局長出發

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は本社と事務打合の爲め二十日朝南大門驛發列車にて大連に向け出張せり

◎高瀨理事消息

客冬來東上中の高瀨奉天駐在東拓理事は總會の終了後近く歸滿の旨消息ありたりと

◎新司法十年（三）
辯護士　中村時章氏談

◎賄賂の事であるが是は裁判官に對しては遂に絕對に行はれなかつた事で訴訟人は到底之を行ふ餘地なきことを充分認識したのであるが併し四十一年頃の事を想へば訴訟民が何等かの緣故を以て內地人法官の助力を得んと思ひは當然の事と考へらる、法官の耳へは無論聞にもせぬ事又大迄は達せぬながら人民間では如何せば因緣がつけらるゝか位は研究もしたらしく思はるゝ節がないではない何しろ永年月其昔時の弊害が一般に行はれたる韓國の事であるし又時折り他官吏には此忌はしき風說の在つた當時なる故彼等が其頃婦めには何んとかする手段はなきや位は思はぬ筈がないのである、自分が辯護士となりし後でも或刑事々件の被告の親族が現に一萬圓を現金を攜帶して來て何んとか有効に使ふ途はないかなど問ひたる實例がある是れは四十三四年頃の事と想ふ又特別の方法手段(辯論以外)は無いかなど通譯を介して聞かれた事もある併し如何なる手段を以てしても此事許りは絕對に駄目で事が左樣の運動らしき方法を取れば一年で濟むものが十年の刑に處せらるゝやも知れぬと諭して斷つた事もある

◎自分は十年後の今日迄の刑事辯護の中で韓國官吏公吏の收賄事件を取扱ふた事も二三ではない中には內地人もある又贈賄を種々した詐欺取財事件も澤山有つた其件に思ふが是が司法官即ち判檢事に關係して起つた案件は一も見當らぬのである是丈は自分は斷言することが出來るのである

◎即ち內地人の法官が朝鮮に來て今日十周年の記念日に出來て[illegible]なかつた事の確證にて絕對に賄賂の忌はしき噂は聞かぬ、判決の誤りとか常識を逸した判決とかの世間の批評は格別として司法界なるものは非常に淸廉なものであると云ふことを誇りとするを祝する事が出來るのである

人事消息

▲平山武利氏(泰東日報主筆)十八日內地より入京近々大連へ歸社の筈

酒前茶後

◆過般非業の最後を遂げたる露國留斯科勞兵會長誤呂死血死[illegible]

◆過激派一方の旗頭として知れ九百五年の革命騷には大童と成り[illegible]

◆官僚五十名を斬て雲隱し首級は一萬留の懸賞ある天下のお尋ね者[illegible]

◆九年間巧に米國に隱れ今回大手を振て歸國するや殺さるゝ之も天[illegible]

◆例の大紛擾を極し早大校規改正專門委員間にて絕對秘密に[illegible]

◆教授團よりも希望條項を提出して諮んと昨今再〳〵教授會議を開く[illegible]

◆猛者揃とて議論沸騰特に松平[illegible]者は熱狂的田中穗積席を蹴て去る

◆東大醫科の齒科連繫學會を組織し過日芝紅葉館にて發會式を擧行會長副會長派は忽ち杯盤を碎ての大活劇とは齒科大に嚙合ふ起因は平生より會長石原副會長島峰兩博士の犬猿の間柄よりも也ざ

◆犬と猿との嚙合は珍しからざるも時局柄か學者連迄の氣質荒さなし

◆獨帝過般緊急勅令を以て『民子を生めよ』と布告せしは獨帝の官選婚を以て婦女子を强制する

◆獨帝は更に獨逸婦人界よりも[illegible]運命の佳人等は泣て遂に[illegible]外に逃て曰く『あゝ英國を救けよ』と

◆豆粕飯の本家は田尻東京市長にな豆粕味噌を造りたる豆粕[illegible]

◆田尻氏大喜びにて早速東京十區長を招き御馳走に及ぶと云ふ段豆粕飯に豆粕汁市長大悅にて美味でせうと云へば一同はイヤ珍味

十一月一日現行

瑞西土産

▼敵味方の飛行機

潜航艇を建造して居る—軍需品成金が澤山出來た

新歸朝者　總督府醫院小兒科長　河野醫官談（四）

戰亂の影響は單に衣食住の上のみならず不幸にして吾人の研究にも及んで來た—と云ふのは戰亂以來醫療上の器械器具は勿論種々な研究材料の輸入が困難になつたからである尤も

▽色素の如き（は交戰國にも非常なる缺乏を感じ）ながら其實まだ／＼澤山に貯藏されて居る相だが其他のものは容易に手に容られぬ殊に研究用の小動物—例へば兎、モルモットのやうな小動物が缺乏を來して居るには閉口する從つて大學あたりでも研究上、教授上人知れぬ苦心を拂つて居るやうだ唯斯うした環境に在つて有難いと思ふのは

▽獨逸の新刊（書が自由に讀める事である）國を賭して戰つて居ても流石は獨逸毎月立派な書物を刊行するのでこれがドノ位吾々の研究を助けるか知れない瑞西は御承知通りの小國ではあるが常に獨逸の文化を受入れることに努めて居るので學術の發達して居ることは驚く許り醫科大學許りでもベルン、バーゼル、チューリヒ、ジュネヴ、ロサンヌと五箇所ある、之等の

▽大學は外觀（は決して立派な者ではない）が內容は到底我帝國大學に及ばぬが多數の世界的學者を教授として內容が非常に充實して居るので名高い夫で各國からの留學生も甚だ多く露西亞を始め羅馬尼、塞爾維など自分の國に立派な大學を持たぬ國は大抵瑞西に留學生を送つて居るやうである—機械工業の發達して居ることは前に鳥渡述べたが開戰以來此發達した工業を利用して旺んに

▽軍需品製造（に從事して居る、甚しきは）佛蘭西及び獨逸から註文の飛行機を製造して居るが或る工場では獨逸の潜航艇をも建造して居ると云ふことだ餘り軍需品の製造が旺んなので曾てチューリヒの學生連は非常に憤慨して『戰爭が長引くのは軍需品を供給するものがあるからだ』と大擧して暴動を起しかけたことがあるが政府も其鎭壓には大いに手古摺つたらしい然し何んと云つても此軍需品製造が瑞西の

▽經濟界を潤（したことは非常なもので）戰爭以來大小の軍需品成金續々成金が雨後の筍の如く簇出したやうである唯瑞西の成金は如何に金の山を積んだところで酒食に贅を盡すなどは夢にも出來ず日本の成金に比べると實に悲慘なものである

◇愛婦會總裁令旨

愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下には愛國婦人會に於て去る十三日會議の爲め上京中の各地方長官を招待せしが席上會務上に關し特に左の令旨を賜はりたり

令旨

今夕諸氏と相會するは欣喜の至りなり諸氏が常に本會の爲め盡力せらるは洵に滿足する處なり猶將來益々奮勵以て會務の發展を圖り世の趨勢に鑑み本會の任務を盡すに努力せられん事を望む

●尼公繼嗣內定　村雲尼公の繼嗣は九條公養女はる子(三)と內定せり（大阪特電）

●仲買帳簿檢查　京都檢事局は十九日活動を開始したるが仲買人の帳簿檢查新方面に發展したるならんか（大阪特電）

●流行性感冒

奉天に猖獗

奉天には目下流行性感冒猖獗を極め城內支那人初め日本人側の罹病者非常に多し但し患者は二三日中に皆全快す（奉天特電）

●京元三防

大降雹

通信故障續出

十九日正午京元線三防附近一帶に直徑一寸餘の降雹あり爲め電信電話の故障續出し通信杜絕一時間餘に及べり（元山特電）

◇大陸を戀して來た……中平文子

●大陸を戀して……

▽……黄塵の奉天に來た中平文子

（さびしくとも、あの地平線に沈む夕日影、流にうつる柳の嫩葉、大陸の情趣はなつかしい）

◇滿鐵の三本さんはわたしのお仲人

◇元中央新聞婦人記者中平文子は此のごろ奉天でお琴の手すさびの唄の思ひが日本の空へ通ふや否やその邊はしかと知らず

◇あはれ其の戀人とそは禹域四百餘州の山河がそれと、唄の合間には支那語の勉強に熱心なり

◇頃日大陸日々新聞には客員として滿文の組形、貼氣な直情徑行は此の人天性の持前なるべし、されど本來は溫和しさうな女性地に黑の新銘仙縞は細そりした肩に似つかはしうて、さ背の半襟はクッキリ白い襟足に浮き立ちて見えたり、さてまた帶は剛綿の縱文字、其處の何處からでも突ち込んで見よさの身構へなり

◇『初めてこちらへ參りました時はしみ／＼滿洲の寂しさを思ひました、しかし馴れて見ますといろんな美しい自然を見出します、あの地平線に沈む夕日の影も、流れにうつる柳の嫩葉も、大陸の情趣はなつかしいもの〻一つとなりました……』

◇また燕鳥の渡る初夏ともなれば、文子は『杭州の西湖を思ふ』と云つた、青き湖上に畫舫を浮べて、足の少さい杭州姑娘のやうな美人が見ろさき、つく／＼南支那の思ひ出が湧きます』と黑味勝ちな眼であでやかに笑つた

◇『それに頃日は露西亞語を勉强してゐます』と、文子は雜記帳を取り出して見せ『近所の店の露人の少女、露國人は眞個に正直で愛すべき國民ですね』と何處までも大陸好きなはなしであつた

◇宿は新市街七福屋の二階、學校の女先生二人と別々につゝましやかな併し暖かさうな生活である

◇『わたくしの滿洲に來ましたのは別に意味はありません、しかし進んだ生涯が後々になつてお解りになる日のありやなしや皆さんはたゞ支那大陸を戀する女として、植民地の寛容な態度を示していたゞきたいと存じます

◇わたくしの過去は過去として只今のわたくしが什麼考へをもつてゐるか直接お逢ひ下すつた方はよく理解して下さいます、前の朝鮮鐵道の三本さんはわたくしの嫁入りした時のお仲人でした

◇旅に居ていろんな根も葉もない噂を書かれる時あたしは故郷の兩親や知己の方に氣の毒だと思ひます、しかし皆様に爰した理解して下さる方は却つて同情していたゞきます

◇着物にしましても美しくすれば兎や角云はれ、お粗末にすれば零落の身と誤られ、眞個に世間に苦勞します……』と茶目な『おさすが眼見ねの記』の著者文子もさすがに女は女なりけり（在奉天一記者）

●朝鮮藥學校

經過

基金既に三萬圓に達す　六月中には開校

趙重應子を創立委員長とし兒島吉太郎藥學士の奔走にて設立を見んとしつゝある朝鮮藥學校創立其後の經過を聞くに未だ其筋に出願中に係る補助金下附の指令無きも廣く同志の寄附を仰ぎ

◆基金を造るの計畫にて內地に於ては丹羽丹波の兩藥學博士長井理藥學博士福原帝國生命保險社長等の盡力斡旋に依り主として朝鮮と取引關係を有する藥店より約四萬圓の寄附勸誘中にて目下京城の新井虎太郎、山岸佐太郎兩氏は之れが用務を帶びて東上中にして既に

◆三萬圓の募入を終りたりとの事なり朝鮮に於ても同業同志者間に寄附勸誘中なり而して生徒の募集を終了次第其筋の指令を俟ちて六月中には開校の運びに至るべく教師は特に內地より專任者を招聘中なりと

●鎭南浦の椿事

改修家屋倒潰　死傷數名を出す

鎭南浦碑石里賣商吳時鉉(五八)は今度府道路改修の結果警察前通りの日本人湯屋絵湯の向側に移轉せんと古家屋を買ひ入れて十日許り前より大修繕を行ひ日々普請場に來りて此處彼處の指圖を爲しつゝありしが十九日午前十時頃メキ／＼と音するよと見る程も無く俄然家屋

▲倒壞し　主人の吳時鉉の外作事中の大工左官計六名が一時に下敷となりたる椿事に大騷ぎとなり當直古市警部以下官吏多數出張し附近の里民多數と協力して時を移さず里民多數と協力して死木材を取除き掘り出したるが其時遲く主人の時鉉は大材木に

▲胸部を　押潰されて即死し居り他は何れも重輕傷を負ひて人事不省に陷り居たるより直に附近の牛山病院大同病院に擔ぎ込み有木醫師立會應急治療を施し大工某は骨折の爲め左脚を膝下より切斷したるが此れも生命の程は何れとも覺束なしと倒壞の原因は修繕の際道路より高く地上げを爲したる處に兩三日來の雨天にて

▲地盤に　弛るみを來したる上に壁土を施さず屋根にのみ重量の瓦を置ける爲め自然狂ひを生ぜしためなるべしと

●京元荒しは三年

長崎縣下縣郡嚴原町生れ元山旭町二丁目居住前科四犯の會社員飛田勝治(二十八)一名松本長次郎は吉田たつ、同市今泉みね、阪上直代、寺澤德次郎、[illegible]

大掃除

＝二十一日＝

京城本町警察署管內左記町內は各自大掃除を施行すべし

黄金町三、四、五丁目、林町、花園町、初音町、舟橋町、芳山町

●相撲休場

二十日大相撲五月場所八日目は雨のため休場に決す（東京特電）

●櫻井博士の

所謂『紳士體操』

簡單にて實行容易

醫學博士櫻井恒次郎氏の研究發案に成る所謂紳士體操は博士が多年の醫學理的研究と實地的經驗とに依り案出されたるものにして之を實行する人は何れも其保健上の効果の甚大なるに驚き居る有樣にて之を學ぶの士人日を逐うて加はるの盛況を呈しつゝあり同體操は之を行ふに簡單にして時間と勞力を要せず男子は勿論淑女にも實行容易にして家庭體操として最も上乘なるものなる可し因に實行を希望する人は總督府學務課長弓削氏に問合はす可しと

◎不良少年こ　（婦人と小供）

家庭教育の關係

內地では不良少年、不良少女の群が多くなつたやうです、そして書籍店の陳列臺から書物を取り去るとか、小學兒童の月謝を盜み取るとか中でも去る十三日東京の坂本署に因はれた十六歳の少女は羽織を盜んだものでその家庭を調べて見ると家庭教育なんて事はちつとも考へないらしい尤も九人も子供のあるので、それまで注意の行屆かなかつたのは勿論でありますけれども

◎以上は內地に於ての事ですが近來朝鮮にも大分この種の不良少年が多いやうですこれに就いて或る老教育家は語られました、既に育兒法とか家庭教育とか云ふ事は多くの教育家、道德家達から言ひ古るされた言葉でありますが家庭の圓滿が缺けてゐるとか不注意の內に行つてゐる事が如何なる影響を子供に與へるかと云ふ事は十分考へるべき事で、これが故に子供を不良性に導き神經過敏にならしめ終には拗ね者にするやうになります現在の婦人を見ますと古昔を忘れて只いたづらに流行を追ひ虛榮にとらはれて居るやうです、これがためにその母に育てられる子供は自然不健全な思想を吹き込まれるわけであります、とのお話しでありました、私はこれ

を聞いて思ひ出しました◎東京のある幼稚園の七歳になる可愛らしい女の子が他の子供と遊ぶのにきい事をし始めましたお母さま、あなたは父さんで私『あなたは赤ちやん』といつた風に自分の家庭に倣つて割り出し自分の家庭で起る夕方の光景を演じました、さうするとその女の子はお父さんになつた男の子に

◎『不服さうに申しました『あなたはお父さんでせう、お父さんならお役所からお歸りになると直ぐお無理を言はなくつてはいけないのよ、そしてお母さんと喧嘩をしてお飯を頂いてまた喧嘩をしてお寢みするのよ』

◎不注意の間に受くる子供の感化の一例として私はこの子供の家庭を思つてゾッと致します、學校にまかして丈おいてはいけません、家庭の責任は重大であります、まして誰よりもヨリ多く子供に接するその母に於てをやであります。

◎孝悌洞小火

十九日午後六時頃京城孝悌洞八十九番地中兼溫突二間を燒失し常備消防隊が消し止む

◎和田伸正講演會　二十一日午後八時仁川仲町佛教青年會館に於いて高野山管長代理和田性海師の『因はれざる生活』と題せる講演ある筈一般の傍聽隨意なり

讀者文藝（一等には五十錢券…）

▲物は付（をかしくてもく笑へないもの）

◎若い人のはげ頭（二等）　京城南米倉町二〇五　谷川生

▲婚禮の席上の花嫁　京城　芳子

▲降りながら大掃除　太田　天野

▲出來のよい嫁さん　京城　鋪俠散

▲丑寺の鏡太鼓　水原　漂浪散史

灯ともし頃

（京城…）[illegible]

史劇黒猫太秀鄕　ミラの秘密　第三回公開

劇引入場料　一等卅錢　二等廿錢　三等十錢

普通入場料　一等四十錢　二等三十錢　三等十五錢

京日讀者優待割引券（一枚二人共通）

活動寫眞　黄金舘

日時　五月十七日より廿二日迄午後六時半開場

京城日報社

商況

東京期米特電

二十日前場　二節　二十四圓七十七錢　十九

兵庫期米

二十日前場　先限寄付　二十四圓八十九錢　二節　七十一錢　三節　七十五錢

大阪株式特電

銘柄	一押込	後場	前場
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十日前場　[illegible]

大阪期米特電

二十日前場　[illegible]

下關期米特電

二十日前場　[illegible]

雜報

●三品は下押す　大阪三品今前場は先限寄付三百四十圓七十錢と休日前の止め値より一圓七十錢安値にて繰三銘先物十一圓と崩れたり

●正米漸次軟化　政府の外米賣出しは愈々實行すべき旨なれば定期市場の人氣更に軟調の傾きあり且つ外米の朝鮮移入說に恐怖を生じつゝある[illegible]漸次軟化の色

●錢最高値より十錢方の下落に過ぎず　[illegible]

●管理を朝鮮移入に特許の下に之を許可　[illegible]

●金巾弗々動く人氣は頗る落付

●浪板小高し

浪板は內地前場の上海相場[illegible]引締二十錢方

●白米は値下げ

[illegible]引弛み五厘方引下

●支那粟次第安

●綠茶値上げ

更に十錢安なり

不活潑

切輸入殆ど途

下關相場

南大門の廻穀

仁川正米

氣配五十錢安

生魚市場

釜山水產市場

仁川期米

二十日前場保合

先五十五錢二錢安に寄付き

大阪天候曇天

前寄二十四圓七十一錢と一昨止より二十一錢安

先四十九錢より更に八錢と新安値を押

市場雜觀

貿方は出桝の關係上本月に渡さん

外國米賣下げは愈

本日より實行

恐怖　朝鮮移入

更に低落

仁川米豆取引所

二十日の七月限

回	寄付	高値	安値	止メ
一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

十八日後場　前日比

白米標準値

二十六圓三十錢

小賣白米

現金賣　一等白米　二十七錢　二等白米　二十六錢五厘

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　仁川海岸町三丁目　電話四四番

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　仁川海岸町　電話長（サ）…

期米取引所仲買人　田中金兵衛商店　仁川海岸町

期米貢賣之業御進呈　仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長七十六番

仁川海岸町　倉田仲買店

大阪期米　一圓六十五錢先六十五錢と十錢高に寄付二節八十錢と上伸し後七十六錢八錢を甚合ひ小圓を成行き下打

天氣

西風晴時々曇

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名明記の事

課題及び募集規定

●支那の南北妥協抔とは
迚も出來無い相談だらう
◇某名士は記者に斯く語れり◇

支那昨今の形勢につき某名士の意見をきく。曰く『支那南北の戰爭は昨今湖南方面で盛に發展してゐるやうに噂されつゝあるが其の實

戰爭らしい戰爭は（チャント始めて居らぬのである）南軍共斷然意を決して攻へば進んだ方が必ず勝を得るのであるけれども其處が支那の支那たるところで双方とも一向煮え切らない先達て張懷芝の軍が南軍から攻撃されて敗れた原因も彼の部下が敵の

爆竹の音に驚いて（逃げ出したゞけのもので南北軍とも）生命のやりとりは容易に始めぬ、支那では詰り口舌や筆の戰ひで相手を屈伏せしめやうといふんだから齢が惡い撃ち合ひなどは先づ算盤に合はぬ方であらう、是迄北方から行つた第一路、第二路の總司令官には直隷の曹錕や山東の張懷芝將軍などが居たが張氏は昨今非常に司令を回避してる樣である之れでは何うしても

張督軍の奉天軍が（中堅とならねばならぬ譯である）奉軍は今漢口まで南征總司令部を進めてゐるが先月十日に楊參謀長が歸つてから間もなく此の十五日に孫「吳」波の三師長を始め許蘭州氏が奉天へ歸つた、之れは奉軍の作戰上に重大な協議を要するものと思はれるが別段南北妥協の如き問題によるのではあるまい張奉天督軍は最初から

飽まで南征を徹底（せしむるといふ意見の論者だから）今後の奉軍の行動は蓋し刮目に値ひするものであらう次いで又た近頃の愚論は日本に於ける南北妥協論である、之れは乾度南方から日本に賴み込んだものらしいが恁麼ことに日本が係り合つた日には恰度

夫婦喧嘩の仲裁に（這入つて兩方から怨まれる）やうなものである、苟も仲裁者たる以上は乃公の言ふことを聽くか聽かぬかといふ丈けの力がなくてはならぬ、力を用ゐぬのならば傍觀的態度で居るが一番好い、今の南北兩派は決して妥協などゝ微温い相談の出來る間ではない、双方共に一致點を見出し難い立場に在る、南方は乾度舊約法を復活せよと主張するだらうし、夫は又北方にとつて能きない相談である

さうすれば勢ひ（力づくでやるより外に途はない）妥協などをやらせるやうな暇があれば援南か援北かどちらか一つを選ぶがよい、それには假令にも北京に政府のある北方を援ける方が中心者のない南方よりは假りにも手ツ取早くて便利である斯くグズ〳〵喧嘩ばかりしてゐては第一支那の爲めにもよろしくない、日本の爲めにもよろしくなからう、南北妥協などゝいふやうな事は不可能であると我輩は斯う信じて居るが、敢て問ふ、君は以て奈何となすや ウッハッハ』（奉天生）

大連より

○東洋拓殖會社大連支店は事業漸を追ひて進展し四月末に於て新貸出八十餘萬圓特貸を合して二百五十萬圓の巨額に達したるが猶毎月十八萬乃至二十萬の貸出を爲し今年中に四百餘萬乃至五百萬の貸出を爲す豫定なりと云ふが不動產擔保の貸出にては何れの銀行會社に比するも其の額に於て遜色なき成績を示したり

○此の貸出中最も多きを占めたるは家屋建築にして此の資金が普通生產工業土地改良等の資金に比し割合に多額なるは大連市の狀況として止むを得ざる次第なり吾人は更に東拓會社が此の方面に投資し進んで都督府とも協議し家屋を建築し貸與又は年賦賣却の方法を執らん事を希望するものなり

○大連市に於ける家屋の不足は多數者が繰返へし絶叫する處なるが拂底なる家屋は依然拂底にて全市一戸の空家を見出し能はざるに一方來住者は海より陸より日に月に移住附加し住所を索むる爲めに多大の勢力と時間とを費し今や住所難の聲は大連市中に充滿せり

○家屋の拂底斯くの如くなれば家主の横暴なるは自然の勢にして聊かにても氣に喰はぬ借家人は直ちに退去を要求せらるゝは止むを得ずとするも家賃の如きは隔月毎位に昂騰し或は他の競爭借家人の爲めに止むを得ず不當の家賃を支拂はされ居るが如き戶々殆ど然らざる無し好景氣と云ば好景氣滑稽と云へば一種の滑稽なるが植民政策上又は社會政策上頗る面目に考慮するの必要あり

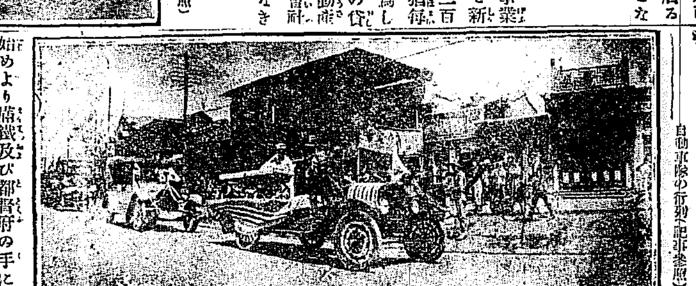
○大連市の如きは他の都市と異り始めより滿鐵及び都督府の手に由り人爲的に形成せられたる市街なるを以て今日市民の訴ふる居住難に對しても相當考慮調節の責任あり又住所調節の途は比較的容易なるものなり吾人東拓大連支店が此際大連民政署と共に此の方面に活躍せん事を希望するものなり

○貸下げ又は拂下ぐべき廣大なる官有地は民政署の手に在り不動產を擔保に貸出すべき莫大の資金は東拓の手に在り兩者大連市民の爲めに因るあれば蓋し一擧手一投足の勞を以て大連市中に充溢する居住難の聲の如きは忽ちに終熄すべきのみ

○然るに從來思ひて茲に至らず東拓は剛慾無慙の家主の爲めに家屋土地兼併の爲めの資金を投下し民政署はある情實者にのみ限りて土地の貸下を行ふ等大連市今日の居住難を生じたる亦故なきに非ず

○東拓は此の際宜しく官有地の一部の貸下を受け各種の家屋を建築し元利割賦償還法に由りて居住者に家屋引渡方法を講ずべし斯くの如きは他の民間營利會社の能くする能はざる處にして東拓本來の目的に添ふ處のものなるべし斯くの如くして滿蒙進展の策源地たる大連市の基礎は始めて安定し又植民市建設の一試練を經る事とならん

北京米國公使館カアニバル 騎兵隊の行列（記事參照）


北京米國公使館カアニバル 自動車隊の行列（記事參照）

●北京米公使館のカアニバル ‖寫眞參照‖

北京米國公使館にては本國の赤十字社に義捐の目的を以て去る十六日午後二時より盛大なるカアニバルを開催せるが北京在住の協商側外交官及び貴婦人の來會するもの頗る多く大成功を以て閉會せるが當日は午前より米國赤十字の徽章を付せる數十臺の自動車に多數の米國兵假裝して分乘し市中を練り步きたるが中にも數十頭の駱駝行列は注目を惹きて喝采を博せり

●忠南は明年に
◆共進會は開催を延期し（其代り物產陳列所を設立す）

大田に於て本秋忠淸南道物產共進會開催の計畫ありし事は屢報の如くなるが其後道當局に於て種々研究中にて大田郡より二千五百圓其他の各郡より五百圓宛を醵出し總計九千五百圓の經費を支出する事に決定しゐたるも既に全羅北道には三萬圓餘を投ずる物產共進會開催の件決定したる今日忠南共進會を開催するは稍時期遲れの感あり其の經費も餘り貧弱なるを以て寧ろ共進會を明年に延期し更らに大規模の共進會を開催することゝなり本年は差し當り九千餘圓を投じて永久的の家屋を建設し一時之を物品陳列場に使用し尙ほ明年度の共進會場に充用することに決したるを以て大田郡廳に於て四五の有志者會合し種々協議する處ありしが差し當り大田郡の負擔額二千五百圓中千七百圓を大田面に引き受け殘り八百圓を郡餘の大田郡各方面に於て負擔せしむる事に決したり（大田）

●平南と棉花

平安南道に於ける大正六年中棉花の作付及び收穫販賣數量左の如し

	作付	收穫	販賣
南浦	[illegible]反	[illegible]斤	……
大同	[illegible]	[illegible]	[illegible]
順川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
孟山	[illegible]	[illegible]	……
陽德	[illegible]	[illegible]	[illegible]
成川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中和	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江西	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德川	[illegible]	[illegible]	……
寧遠	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●藥の景品に牛
◆早晩は差止められるだらう◆

近頃全羅南道咸平郡地方へ『陽丹』と稱する『仁丹』に似せて造つた丸藥を景品付で賣る商人があつて其景品が頗る大袈裟で五袋一組（五十錢）を買ふ者へは抽籤で一等生牛（十五圓）二等白米一俵（十五圓）外種々の景品を出したので此間の同郡鶴橋開市日の如きは六千人から集つた者が殆んど大部分此の藥を買つたといふ始末で又た此の頃は一般に景氣が好いせいか賭博が流行する傾きがあり最近十數名も檢擧されたさうだが斯る事情を察して賣藥商人が土地の者の射倖心を挑發するのは大に考へ物だと同地よりの歸客は語つた（木浦）

●一月後れの春
◆吉長線は今が花盛り◆

昨年まで一向人に知られなかつた吉長線土門嶺の春色も今年は滿鐵の管理に移つた爲め同鐵道では大に其風光の佳なることを紹介して行樂心を唆つてゐるので平原の眺めもなき凡山凡水に飽き〳〵して居る長春の市民間には近頃非常の評判になつて出掛ける者が多い（[illegible]）吉長鐵道では是等の人々に賃金の割引をする外三輛の遊覽車を聯結し山の案內者をも附し山頂には休憩所や湯沸場を設けて支那人に茶の給仕をさせ又數名の巡警を派して警戒させ臨時停車場を設置する等實に到れり盡せりの待遇をして居る。處で吉長鐵道が斯くの如く紹介に努力して居る土門嶺と云ふのは吉長線の恰度中間に在つて滿鐵長春驛に隣接せる吉長鐵道頭道溝驛から長春、卡倫、飲馬河、下九臺、營城子の五驛を挾み四十五哩餘隔つた（約三時間で行ける所にある）人家は僅か十數戶よりない一小驛であるが右は遠く東に向つて起伏した山嶺が延び鬱々たる樹木が春の和らかい光りを受け青々として前は廣く耕やされた畑地が縱横に區劃され此方から眺めた風景は非常に好いが何うも風をまともに受けるのと少し遠い樣であるせいか左手の山に諸種の設備が出來てゐる、驛を後に半丁も進むと直ぐ山に向つて夫れを登ると前面高く一道の急坂が帶を布いた樣に山頂に伸び其上にはアンペラ屋根ではあるが休憩所もある、此の邊は少し急勾配で婦人には一寸强い樣であるが、山とすれば別に大した事でもない、此上に登ると四方の眺望は實に絶佳で重疊たる緑巒は綠樹を以て覆はれ谿間に梨李の花が白く淡紅に彩られて點出し翠色滴る稚樹林を縫へる潺々たる流には支那婦女の洗濯に餘念なき樣等手に取る如く一眸の下に收められ自ら春の長閑なる氣分の漂ふを覺ゆる、さうして（花は二十日前後が恰度滿開で）ある、蕨は隨分多くあつて婦人連の慰みには絶好の所である、只恨むらくは運動其他の催ほしをするに格好の廣場のない事で木の根や雜草等繁茂してゐるが爲め運動家に興味を添へる事の薄いのは甚だ遺憾である故に將來小グランドの一つも造られたならば好からうと思ふ（[illegible]）（長春）

●大同江の蛤
◆今歲から支那へ輸出◆

昨年來平南各沿岸殊に大同江口に蛤の棲息無盡藏なるを發見し爾來之が漁獵に從事するもの非常に多く是等は主として內地方面に移出されつゝありしも本年は之を煮乾製と爲し支那地方に輸出するの計畫成り既に第一回取引を開始せしが大同江口の蛤は品質頗る良好にして一般に歡迎せらる（平壤）

●勝湖里の新天地
◆小野田セメントの引込線◆

平南江東郡晩達面勝湖里小野田セメント會社建設地迄の引込線及び同會社工事等は解氷後の天候順調なりし爲め豫期の如く進捗し倶樂部（一棟）粘土乾燥室（一棟）職工宿舍（一棟）職工宿舍（六棟）驛舍（一棟）は既に完成し目下一部の補修工事をなしつゝあるのみにして同會社は南滿洲鐵道局に本年八月三十一日迄無償貸與の契約をなし五月上旬保田稠技手立會の上滿鐵代表者平壤保線主任岡村政雄氏に引渡したるが鐵道局よりは勝湖里線の運送賃金等につき更に岡部松太郎氏來り諸種の調査を遂げ愈々本月九日より營業を開始するに至り勝湖里には驛長及び內地人事務員一名配置せられたり水道工事は現今淨水池の工事進捗中なるが近々の中完成すべしと（平壤）

蠶況 ―平北

最近[illegible]市場に於ける生糸は百斤一千五百圓に昇騰し一時蠶種の缺乏を來したるやの趣なりしが右は全く誤傳にして義州蠶種家等には尙多數の蠶種貯藏し居る有樣にて當局も希望者に對し蠶種購入方獎勵し居れりと

仁川期米

△二十日後場 大阪前止め二十四圓八十九錢後寄二十五圓十九錢の入電に當限二十[illegible]

二十日の七月限

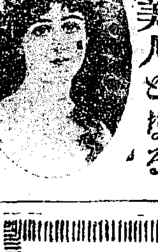
寄付	二十一圓六十五錢
止メ	二十一圓七十八錢
高値	二十一圓八十錢
安値	二十一圓六十五錢

●連絡船上陸客

十九日午前釜山入港高麗丸一二等客 一等十三名 木下謙伊良、上杉古太郎、福島長之助、伊東忠太、今泉岡太郎、河野榮太郎、三大田留二、樋岡班、藤山留太、山崎英太郎、三浦斗、外人二名 [illegible]

十九日午後入港對馬丸一二等客 [illegible]（二等二十九名）（三等七十名）

本年流行 セル地 見切反 壹圓九拾錢
東京市下谷區西黑門町毛織物卸商八千代商會は今回價格流れの上等柄流行セルを引取り物價騰貴の今日原織値段の只の貳圓九拾錢と云ふ廉價を以て提供し尙閉業七週年記念として正金代用十八金色不思議の金指環を一個宛進呈しつゝあるが非常の好評にて飛ぶが如く賣れ行きつゝあり地方希望者は賣り切れとならぬ內大至急ハガキに男女別年齡を記し申込めば親切に柄合を見はからひ代金引換（送料を要す）にて送る

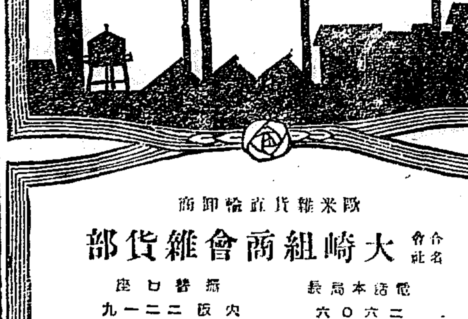


不思議に色白く美人となる
大阪北區曾根崎上三 ブライト商會

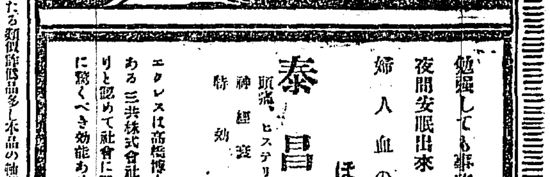
大口歡迎 田村質店
黄金町長橋前入口 電話二九一六番
商品擔保便利取扱

發芽保險附 桑種子販賣
大正七年式西上式葉摘器
一報次第値段通知仕り候
福山市吉津坂 西上種苗園

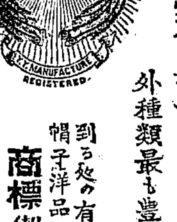
スワン萬年ペン
宮內省御用品 本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり
到る所の文具店に有り目下販賣中 買ふ人の德なる時節 最寄販賣店に乞御用命 目錄無代進呈
大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所



內外を問はず常に製品の卓越せる工場と特約致し居候
御取引は極めて懇切に取扱ひ申候間多少不拘御用命願上候
營業品目
帽子類 毛布類
メリヤス類 羽根布團
クレップシャツ ハンカチーフ
靴下 洋服附屬品
手袋 其他雜貨
歐米雜貨直輸卸商
合名會社 大崎組商會雜貨部
電話本局長 二六〇六 二六〇七 二六〇八
振替口座 大阪 二二一九 東京 九三三九



勉强しても事務をとつてもすぐ疲れる人。
夜間安眠出來ぬ人。常習頭痛の人。
婦人血の道。生殖器障害の人に。
ほんとによく効く藥は
泰昌のエクレス 唯一つ
頭痛、ヒステリー 神經衰弱 特効藥
定價 試用 二十錢 小 五十錢 大 一圓三十錢 特大 三圓
エクレスは高橋博士監督の下に數多の學士が今日醫藥發賣元として第一の研究たりと認めて社會に發表せしものにして頭痛、神經衰弱、ヒステリー精力減退に驚くべき効能あり 全國藥店にありなくば、本社に注文あれ。
東京室町 泰昌製藥株式會社



パナマ帽子は
日ノ出向鳥印を附したる
東洋パナマに依て代表さる！
新らしき發賣の極めて細き纖維にて編まれたる最優良品の御愛用を希ふ
外種類最も豐富
到る處の有名なる帽子洋品店にて御購求を希ふ
商標御注意
登錄商標
東洋パナマ商標 TOYO PANAMA PATENT No.21829 TRADE MARK

淋病新藥 ツヨール
故下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定、俳川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士等の實驗の結果理想的內服治淋劑と確定さる
△本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、胃腸炎、消渇等其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
百粒入壹圓八拾錢 五拾粒入九拾五錢 三十粒入六拾錢
◎說明書無料贈呈す
製造元東京市日本橋 ツヨール商會 △發賣元大阪道修町 田邊五兵衛 振替大阪八六七番

[illegible] 表後一週間以內に [illegible] 見逃告者には五十錢進呈 但何書何號と明記に限る 京城日報編輯局誌者文藝係

塚原卜傳

第八十一席　悟道軒圓玉口演

老女早瀬は先刻より待受けて居りましたから半之丞の足音を聞いて非常口を開き、直ぐに手を取つて案内する、半之丞は案内に随がつて奥庭を通り、縁へ上つて廊下傳ひに白妙の居間へ近付くと白妙は戀しき男に逢ふのでございますから充分に化粧をして美しさは花も羞らふばかり、華美やかなる小袖を著て早瀬の聲を聞くより早く、障子を開けて半身を現はし、半之丞と顔見合せニッコリ笑つた、實に其美しきこと言はん方なく宛然天女の天降つたかと思はれるばかり、半之丞の手を執つて内へ伴なひまする、侍女共を騒がすに遠慮して間を隔て居りまして傍には老女早瀬ばかり　早『まア半之丞様能うこそ御出下さいました、お部屋様が先日稲荷山の御参詣の折貴方のお姿を御覧になつてから毎日々々の物思ひどれほどお痩せ遊ばしたやら傍で見る目もお痛はしい位ゐでございましたが、其れほどつれない半之丞様も御部屋様の一念が届いてか漸々打解けて嬉しい御返事、今宵の首尾こんな嬉しい事はございませぬ、サアお部屋様何とか仰しやいまし』と早瀬といふ獨婆が一人で取持ち顔に喋舌つて居る、白妙は恥かしさに差俯向いて居る様子、半之丞白妙の傍にピタリと坐して　半『斯ならぬ部屋住の拙者に御愛姿の貴女が其れほどまでの御情けを懸られ身に餘つたる冥加千萬忝じけなく御禮申上げます、其上今宵の見参、御情けに引寄せられ大膽にも垣を越ね將軍御愛妾たる白妙殿の御居間へ忍び入つたる拙者、若し奥役人の眼にも入り目にも觸れなば拙者は愚か白妙殿まで同罪に陷いるは目の當りなれど其れは御覺悟でござらうな』といはれて白妙顔を上げ

白『改めてのお言葉、其れは水臭いと申すもの、固より上の御寵愛に背き、女の身として大膽な此儀重な奥御殿へ男を引入れ戯れたことが、役人の耳に入らば忽ち將軍の怒りに觸れ生命を取られるは知れたこと其れは覺悟の上でございます、只お痛はしいは半之丞様よしなき女に慕はれて其御生命に拘はるかと思へば今更ら何と御詫の申さうやうもございませぬ、之れも定まる因縁と諦らめてどうぞお免し下さりませ　半『其れほどまでの御心底、共に死するは覺悟とならば改めて半之丞に所望がござる何卒お叶へ下されい　白『御所望となれば何なりともお望み通りに誓は誓詞の事でございませう、其れなれば何なりともお望み通りに書きまする　半『イヤ〱拙者の望みは誓詞でない、貴女の一命が貰ひたい　白『まア何事かと思へば生命の御所望でございますか、應うなる上は生命は固より貴方に捧げた白妙死なねばならぬ事があるなら貴方と一緒に死にませう　半『よし然らば白妙殿、御身の生命は貰ひ受けたぞ』と携へたる一刀の柄へ手を懸けスラリと引拔き、只一突と敢へ懸る、アッと驚ろく白妙が、素早く身を轉して飛退り　白『仔細も言はずに切らうとは何事、若し半之丞様お前は氣が狂うたか　半『御家の惡人岩成が執持ちに依つて將軍も狂はねば本心も亂れぬ、御の姿となつたる白妙、汝の色香に溺れて義輝公日夜酒色に耽りたまひ、其虚に乘じて惡人輩が暴威を揮るひ政權を弄ぶ、當足利家の浮沈興廢今此所に瞭然たり、其上汝の兄の左内上意と稱して我爲めにも兄の主水の眉間に傷付け武士に恥辱を與へし恨み、汝等兄妹を討つて捨て奸臣誅伐の血祭りをなさんと色に迷ひし體にして忍び入つたる半之丞、逃れぬ所と覺悟して潔よく生命を捨てよ』と罵りながら半之丞一刀を揮るつて只一打と斬込むを白妙は驚ろきながら右左りへ逃まどふ、早瀬が驚ろいて叫ぶ聲に奥御殿は時ならぬ騒動。

人參玉天

京城本町壹●電話一八〇〇番

㋡津村兄弟商會

牛乳

衛生的 滋養豊富 朝戌病院 テホルテ 御用

京城東四軒町

岡野牧場

電話一〇六九番

五月廿二日九星　舊四月十二日己巳　本命四綠　鎖建佛滅

◆四綠　上品なる望事の事有日新規の見合せ北方は吉吟味…▲五黄　抑みたなしの事有日新規の事見合北方…▲六白　…▲七赤　…▲八白　…▲九紫　…▲一白　…▲二黑　…▲三碧　…

古代 現代 浮世繪

特一圓半　甲一圓　乙五十錢

極色顔優美趣味絶妙 彩品目録見本 御好方三錢切手七枚送付あれ

大阪南區難波元町一丁目　吉野屋

流經新藥レスノリン 月經

確實の流經作用…

大阪北區梅田…　發行所　常盤藥院

演藝案内

壽館　京城本町　電話一〇五〇番

▲浪花節 市川小梅 京一座 切狂言 侠客 發士 …

有樂館　電話（階上）五九七番（階下）二〇五番

活動寫眞常設館　… ▲猛獸活劇『夜の影』全二卷 …

大正館　櫻井町　電話八七三

… 活劇アンブローズの血眼 二卷 … 悲活劇『戰時の女』全六卷 … 新派悲劇『春霞』全四卷 …

黄金館　電話二六三七 二六六

… 侠勇 大秀鄕 … 第三回 怪活劇『ミラの秘密』…

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

… 新派悲劇『戀と戀』全三卷 …

はい病に

効能正しき良藥あり困難の方は詳細… 播州明石新町…

乳の出る 妙藥發見!!

産後乳出なく又は平素不足な程氣の毒な人はない況して兒供を育てる母親の身にとつては何より困難です牛乳やミルク等で育てるには澤山なお金が入り其の上手數が並大抵でありません又暖氣になるにつれ腐敗し易く赤兒の胃と腸を惡くしだん〱瘦る一方ですですから赤兒を育てるには遂番な母親の乳に限ると一般の大醫方が云はれて居ります世の中に産後乳出なく近所で貰ひ乳したり牛乳ミルクで代用し難儀して居る方は一時も早く（ハガキ）にて申込になれば今回苦心の上發見になる不思議によく出る藥の委しい説明書を送る。

大阪東區東雲町停留所前　いづみ屋

アザそばかす なまづホクロ入墨イボ

等の爲め困難の人はハガキにて申込あれ學理實驗共に生効力實に驚く可し他に類なし化粧應用無害

東京市向島小梅町　平澤藥院

中風病　全快 謹告

余は元大阪府敎員たりし者數年前中風病に罹り色々藥や療法を求めしも更に効なく到底不治の難病と斷念せし所圖らずも大阪明石町仲町加古忠兵衛氏發見の靈劑を服用し奇効に依り全治の幸福を得ましたに付謝恩の爲め同氏發行の有益な中風病者救濟の爲め同病の方に無代頒布を請ひ承諾を得ましたから同療養書の無代頒布を請求する方は直接加古氏へ照會されよ

大阪市東區森之宮西の町　駒木茂

最新刊

産婆

内務省免許　倉橋順子

京城櫻井町二丁目一一　本町四丁目交番所横ヨリ入　電話二七四二番

親切叮寧に御依賴に應じ候

三宅雪嶺著 ◎小紙庫　定價一、五〇

外政論	淺田信	二、九〇
手形法	三宅大…	三、六〇
天台四教儀講話	新境野黄洋	一、五〇
盆景の作り方	小田…	二、〇〇
大日本主義	上泉德彌	一、二〇
勞働經濟講話	堀田…	一、八〇
民主々義と自由主義	長瀨鳳輔	一、六五
農業倉庫經營論	…	二、〇〇

野村愛正著 ◎明ゆく路　定價一、二〇

トルストイの生涯と藝術	昇曙夢	六五
趣味のユニオン第四讀本	長澤…	一、五〇
扱逆	上田…	一、九〇
料理小説集	吉田…	九〇
口語譯徒然草	…	一、〇〇
詳註十六夜日記	…	六五
朝鮮行政警察法總論	…	七〇
攻略五段鈴木爲次郎著 新式圍碁寶典（第一）	定價各	一、〇〇

京城本町二丁目 大阪屋號書店 京城・釜山・大邱

東洋捕鯨株式會社特約販賣店　鯨問屋　香月商店（京城府明治町二丁目四八）（振替口座京城四八四六番）

◎尾羽毛皮各種諸荷

りん病

日本一

専賣特許 博士證明 自宅器械療法

生殖器障害も同器で治る

他の療法で有効の達し得ざる尿道膜内の巣窟に潜む根治至難の病菌を殲滅し卅年の慢性も治し尚生殖器不完全機能障害も包皮を易く治す安全器械療法ハガキで説明書無代進呈 申込

東京京橋木挽町三 新療法研究所
大阪市北區北森町壹 新療法研究所
京都烏丸通下柳一 新療法研究所
京城本町二丁目七 新療法研究所

衛生口錠 カオール

宮内省御用達品　まがたま形容器

□惡氣を豫防し
□疲勞を回復し
□精神爽快に
□元氣旺盛に
□音聲をよくす

本舗 東京　安藤井筒堂
代理店 關西　藤森源之助

工業界進歩の跡

歐洲戰前に比して我化學工業界の進歩は他を見る迄もない

ウヅマキ石鹸の

品質が萬事を語ると最近斯道專門家が公平な見地から賞揚せられました

東京 横山町　天野源五郎

第五版

京城日報

二十一日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金五十錢 ▲三ヶ月金一圓四十錢 [illegible]
廣告料金 ▲五號活字[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

獨逸の産業並に商權擴張策(一)

賀田直治

一、獨逸勃興の動機及び歴史(一)

獨逸の勃興は實に近世に於ける、世界歴史上の一大現象なり。然れども仔細に之を研究する時は、其の因て來る所の理由、亦極めて徹明なるものあるを認む。抑も獨逸勃興の原因に就ては、種々の說明を與へ得べしと雖も、予は實務生活に鞅掌、中詳、寧に之を槩說するの時間を有せず。寧ろ概括的に要項を說明するの適切且つ有益なるを信じ、試に獨逸勃興の原因を左の諸點に歸著せしめんとす。

第一、歷史的並に地理的に國民の奮發力を刺戟したること

第二、人物の輩出して時勢を適當に運用したること

第三、獨逸民族性の卓越にして、精神上の統一的中心を有したること

第四、國力充實策の根柢的にして特に學俗の調和並に男女の協力、勤儉及び人口繁殖等の要素を具ふること

第五、世界政策に向つて國民的一致を得るに至りたること

以上は素より截然として區別すべきにあらず、或は因となり、或は果となり互に關聯因循して今日の强大を致したるものなるを以て、以下綜合して全體的に之が說明を下さんとす。抑も獨逸の歷史は古しと雖も、中世紀に於ては騎士的美談を有するの外特記すべきものなし。然れども森林は翳欝として狩獵の獸充ち、日常山野を跋渉して膂を練り、精神を養ひ、剛健なる國民性を造りたりしことは明かなり。この地方一帶は墺國皇帝の支配に歸し、政府を維納に置きたりしが、中世紀の後期其の北部に於て、『ブランデンブルグ侯藩』を建てたるもの、即ち今の普魯西となり、ホーヘンツオレーン家の始祖となりたるものなり。從つて賚性に於て剛健强勇の分子を具備したるは明白なる自然的結果なり。獨逸は始め聯邦とは云へ、北部諸國は普魯西を中心とし、南部諸國はバイエルンを中心として、極めて弱き結合の聯邦たりしことを認むるに足る。次に地理的より云へば、獨逸は歐羅巴の中央にて油斷のならぬ位置を占む。進んで實力を充實すれば歐洲に覇たるを得べきも、退嬰して起たざる時は、兩隣の露佛に挾撃せられ、又對岸の英國に操縱せらるべき形局を占め、而も國境亦決して良好且つ安全ならざるの狀勢を有す。是れ常に國民の奮發心を刺戟したる地理的の一原因なりとす。土地は磽确にして氣候寒冷、且つ海上に於て良港を有せざりしを以て學術の力を應用して農耕の進歩を圖り、若くば土地の改良を施し、勤勉節約に依りて生活を維持するの外なかりしなり。

支那文學の變遷

『六』 今關天彭氏談

駢儷文と古文の過渡期

これは隋から唐末五代迄の間であります。隋から唐の始めになると大體前代から引續いた徐陵や庾信のやうな極めて細かい、しかも美しい文體が流行して居たのであつて、これと共に文選が亦大に流行したのである。次でそれから一變して、張說、蘇頲の二人が出た。張說は燕國侯に封ぜられ、蘇頲は許國侯に封ぜられた人で、後世文章の上手な人を指して燕許の大手筆といひますのは、これから出たのであります。又張九齡とか陸贄とかいふ人が出て參りまして、駢儷對偶の間に於て、剛遒の氣勢があつて、そして流走するやうな具合の文章を書いたので、駢體の文章が又た變化して參りました。其の以後になると韓退之、柳子厚の如き人が出て來ますが、韓退之の文章は經書から出るのであるが、主として孟子から變化するのであつて、この宋代に於て流行する理論を重んずる處の一大文脈を開いたのであります。又柳子厚は始め唐代に流行した駢體文を習つて居つたが、罪を獲て貶謫の身となつてから古文を書き出して山水の風景、或は人物を活寫するに長所があります。だがこの古文は唐末の時までは餘り流行した形跡はないのである。要するに唐の文章は駢體文が主なる潮流をなして居るのであります。

唐代は文章の方より、寧ろ詩の方が全盛であつた。唐の初めには王勃とか駱賓王とかいふ人が出て前代から引續いて來た華麗なものを作りましたが、詩界では、それから陳子昂といふ人が出て、六朝の纖弱な詩の調子を一變して魏晉の詩風を作り出したので、これから古詩の格が始めて一定し、又沈佺期、宋之問といふ人が出て、五言律、七言律の格が始めて定まつたのであります。こゝに至つて古體と近體といふものが出來て來るのである。この近體といふのが即ち唐代に出來上つた五言律、七言律の事であります。この外に絕句を近體といふ人もあるが、併し絕句は間違ひであつて、絕句は古體の詩に屬すべきである。これは清朝の王漁洋などが委しく論じて居ることであるから疑もない事であらうと思ひます。さて初唐が終つて盛唐となる。盛唐は玄宗から代宗までの間に於ける詩を指して云ふ詩界の慣用語であります。盛唐の時の詩が支那に於ける最も盛んなる詩であり、當時に於ては詩仙と呼ばる、李白(太白)又詩聖と謂はる、杜甫(子美)の二人が出て居る。この二人の他には王維、孟浩然、高適などの人々が出て、皆夫々の特長を有つて盛唐の詩界を飾つて居ります。次の代宗の頃から文宗に至る間を中唐と云ひますが、この時代には韋應物、劉長卿、白樂天など出て居る。韓退之、柳子厚もこの時に出た。この二人は文章のみならず詩に於ても大家であつたのであります。文宗から唐末に至るまでは晩唐と云ひますが、この時代には杜牧之、李商隱、溫庭筠などといふ人が出た。杜牧之は杜甫と分つ爲に小杜とも云つて居ります。また李商隱は杜甫から一轉して一家の風をなし溫庭筠は李白を學んで一家の詩體を成して居る。李商隱と溫庭筠の二人の詩風を後世では西崑體と云つて居ります。宋の時に勃興した詞は、この頃から多少流行の兆しがあつたのであります。

圖書館を設立せよ(二)

王世子御慶事記念として

法學士 李範昇

本稿の(一)は去る四日の本面に掲載せるが編輯の都合上遲延したれば左に掲載す

前號に自覺は智識を要すと申しましたが、人智開發の進否は文化の消長に關係し文化の消長如何は國運の發展に大影響あるは今更喋々の辯を要しない。而して人智開發は學校以外の圖書館なる一大教育機關ありて學校と相互に補助提携して其の成果を完うせねばならないものである。殊に目下朝鮮に於ては學校のみでは未だ不完全な處が有るから是非とも圖書館教育を以て之を補ふ必要がある。元來學校教育は時期の制限が有つて一定の年限を經過する時は何人も學校を去らねばならない。而して一旦學校を去り教師を離れたる後は自己の判斷にて良書を選定し自己の資金にて之れを購ひ自己の家庭に之れを備付くる境遇に居る者は極めて僅少であるが、是れに反し圖書館にありては從館者に對し收容年限なく老幼男女を別つ事なく且個人の力にて到底蒐集し能はざる内外古今の圖書を備付け讀書者をして讀く碩學大家の訓說に接し、恰らにして殊邦異域の風物を觀或は古今英雄の功蹟を知り或は前賢の事跡を尋ねて不知不識の間に精神を修養し見識を擴充し品性を高め好尙を上せて自から好く教育し得るのみならず之れに附隨する講演、講話等に依りて未だ知らざる知識を容易に會得して時勢の趨向を知り時代の變遷を覺らしむる大便宜と大利益が有る、此れ實に圖書館は人智開發の唯一の利器にして知識要求者の無上の福地と云はざるを得ない。スタンリー・ジエボンス氏は『小學教育に大金を投じながら而も此れを繼續するに必要なる圖書館に些少の費を吝むは九仭の功一簣に虧くものなり』と絕叫したのも當然ではありますまいか

朝鮮の書畫に就て(九)

鮎貝房之進氏談

最近に於いて朝鮮書畫界に特筆せなければならぬのは、阮堂金正喜である。一體朝鮮の學者のみならず一般の人といふものは、洵に識見の狹いのが其の共弊である。然るに珍しくも金正喜は古今得て見ない高邁なる識見を有して居つた人である。尤も夫れは其の若い時に北京に遊んで當時の大家阮元に敎を乞ひ次には翁方綱に就いて學んだのであるが、夫等の諸大家が死ぬまで金正喜と交通を絕たなかつた位であるから勿論識見が高かつたに相違ない。其の例證としては彼は自國人の識見が甚だ低いのを慨して居るのを見ても分る。一體朝鮮人の儒者は自分の國より他に良い國はない、自分より優れた者はないといふ考を有つて居るが、單り金正喜はこれ等より超然として更にさういふ考がないのみならず、自國の甚だ陋劣なるを悟つて居た。金は行書を翁方綱に私淑し、隸書は漢碑を研究して、一種の秋史體といふものを書き出した、其他書畫兩道に於ても常に朝鮮人を集めて研究することを怠らなかつた。此時代に居つた趙熙龍許維は金正喜の敎を受けた一人である。當時書家畫家で金秀哲、李漢哲、金繼述、小痴、李漢喆、李亨泰、柳湘、韓應耆、李在沃、林貢、何、田琦、劉淑、趙重默、劉在韶、尹光、錫、趙熙龍等の人々が每日集つて書畫に就て金正喜の批評を乞ふたのである。これ等も詳しい事は省略しますが、頗々面白い批評を試み且添削もしてやつて居た。其の弟子中で出藍の譽れ高かつたのは田琦であつたが惜い哉三十有一歳で沒した。これは金正喜の最も愛惜措かなかつた所の人であつた。朝鮮の南畫では沈師正と伯仲の間に在り其の蕭散の趣も更に優れて居つて、全く支那人の書いたものと何んの擇ぶ處なく見ゆるのはこれ偏に金正喜の指導宜しきを得た結果であります。洵に取止めのない雜然たる御話で御座いましたがこれを以て終ります。(完)

京日報詩壇

湖山春曉圖　增田岩波

殘月掛山風滿湖。白鷗來去水雲區。梅花深處人停舍。倚杖閒聽老鶴呼。

學鷗曰。清絕冷絕。

雨中對花　安東黍雲

陰晴不定送成霖。洗得塵埃香色深。只根高枝香雪濕。最憐千樹綠陰沈。芳魂欲斷有鶯哭。粉山將消蝶夢禁。思到人間多感慨。茶煙夢繞吾襟。

學鷗曰。意致婉曲、能寫好事多魔、良緣不續之意、可謂才華、

仁川期米　二十日の七月限
[illegible]

廣告

物品賣却

一、第一號 古金物類 四點 (約六三、〇〇〇封度)
一、第二號 雜品類 四拾八點
一、第三號 古製服類 拾八點

右當局經理課ニ於テ賣却ス
希望ノ方ハ來六月五日午後二時迄ニ當局倉庫ニ就キ現品ヲ見積リ入札書ヲ差出スベシ
但入札保證金ハ見積價格百分ノ拾以上トス
入札心得書契約書案等當課ニテ熟覽ヲ承合ノ事

大正七年五月二十日

南滿洲鐵道株式會社 京城管理局

鑛業之友

第四卷 五月號　一部金卅六錢 半年二圓 一年四圓

亞鉛鑛業者に警告す……帝大工科學長 渡邊博士
最近内地及朝鮮試採掘許可
戰後の鑛業……三井合名會社理事 工學博士 團琢磨
若松炭礦會社……實永銅山會社解剖
斯くせば石炭採掘消費に大利……山川農商務技師
鑛業會社 重役と快談す……久原鑛業專務 竹内工學博士 村井鑛業專務 池田貢治郎氏
代理部 分拆(一性分金壹圓)○試採掘出願○鑛石賣買仲介○鑛業機械藥品 △顧問博士學士數名△至誠迅速低廉
(鑛業書籍○鑛石標本等取次販賣 規則進呈)

東京市京橋區南鍋町一ノ九 振替口座東京七六七七番 鑛業之友社

見よ物凄き内容

娛樂世界 六月增大 新怪談揃ひ

□麻畑の一夜
□利根川怨靈
□小夜砧
□番町皿屋敷
□江島屋因緣咄
□雨夜の鬼火
□文彌殺し
□小夜衣双紙
□音羽の鍾
□子殺し地藏
□長兵衛の夢
□化け物船
□水色の襦襠
□金時繪の櫛
□鰺切庖丁
□化猫の怪
□臨月の女
□多澤の池
□木乢の怪
□怨靈屋敷
□蛟道火の煙
□一重峠
□高座の不思議
□紺屋の干場
□寄席の怪談
□隱し誤譲
□因果小僧
□大平の砲聲
□大懸賞募集及發表
□口繪

本誌三百五十頁の大册 正價金四拾參錢 送料三錢

東京日本橋 娛樂世界社

建築界の福音 石灰

■本石灰 は平壤小野田セメント會社の製品にして色澤純白品質精良、耐久力に富むこと內地産を凌駕せり
■本石灰 は運賃其他の關係上頗る低廉にて京城古市町倉庫渡し壹俵六斗入金壹圓七錢にて提供す
■本石灰 の御申込次第運に見本進呈且つ大口又は地方よりの御注文に對しては特に勉强多少共御用命を乞ふ
地方特約販賣御希望の方は左記苦米地商店に御申込みありたし、平壤の價格は富田商會に照會を乞ふ

小野田セメント株式會社平壤支社
一手販賣 三井物產株式會社京城支店

一手特約店 京城古市町一四番地電話三一〇八一 振替京五三三 苦米地商店
平壤特約店 平壤港町電話一三六番 富田商店
京城特約店 京城旭町一丁目電話九八四番 戶澤商店
京城特約店 京城本町二丁目三十番地電話三七〇番 山本村太郎

專賣特許 宮崎式ペーチカ

謹告

今回京城日報社ニ於テ行ハレタル防寒建築圖案募集ノ結果優等ニ當選シタルモノガ總テ申合ハセタルガ如クペーチカヲ採用セルハ近來ペーチカノ眞價ガ如何ニ識者間ニ認メラル、ニ至リタルカヲ知ルニ足ル
然レ共名ハ等シクペーチカト稱シ外觀一見異ナラザルカ如キモ其內部ノ構造並ニ取附金物等ニ至リテハ著シク相違シ從テ外觀ノ醜美、耐久力ノ强弱、暖房能率ノ優劣並ニ取扱上ノ難易等ハ全ク同日ノ談ニアラズ故ニ荷モ完全ナルペーチカノ設備ヲ得ント欲セバ須ラク專賣特許宮崎式ペーチカヲ撰擇シ注文ノ際ハ特ニ
『宮崎式ペーチカ』
ト御指定アランコトヲ望ム

本品の特色
○燃料の節約○時間と手數の省略
○平均せる溫度の持續○就寢後の採暖可能
○火災の虞れ絕無○二室三室の兼用
○衛生的採暖法○永久的裝飾裝置
此外置ペーチカ各種販賣
○說明書御一報次第送呈

京城府龍山漢江通八番地
ペーチカ築設專門 宮崎組 電話五四二番
支店 大連 奉天
出張所 羅南 咸興
臨時出張所 平壤 本溪湖 鞍山 大石橋

理想的採暖裝置

對露干渉問題評論

デリーテレグラフ紙の社説

デリーテレグラフ紙の社説に於て論じて曰く對露干渉問題に就き東京に異論あるは怪しむに足らず吾人は東京に於ける內政問題に干渉する必要なきも寺內元帥の如き才能あり且つ有力なる政治家が其の職を辭するが如き事ありとせんか吾人は之れを遺憾とせざるべからずと又曰く日本の活動が東洋に於ける現下の危機に對し何故に歡迎すべきものなりやの理由を了解する事必要なり蓋し其の理由たるや西伯利が目下保護を要し且つ緊急に其の保護を要求するを以て也と又曰く西伯利は小露西亞と同じく獨逸の穀物倉庫として利用さるゝを免かるべからず西伯利鐵道は全力を盡して過激派の手に入るを防がざるべからず浦鹽斯德哈爾賓間の線路を管理せる支那は此の線を保護する爲め共同の行動に出づるを拒まざるべく日本は其の活動範圍をイルクック迄擴張する必要を認むべしと(倫敦電報)

東清戰爭狀態布告

東淸鐵道沿線地帶總司令官ホルワット長官は東淸全線の戰爭狀態を布告せり(哈爾賓電報)

セ大尉臨時政府組織

セミヨノフ大尉は後貝加爾州臨時政府を組織せるが同政府は全州にセミヨノフ大尉の勢力擴張を圖りつゝあり(哈爾賓特電)

露國公使哈爾賓行

北京特派露國公使クダンエフ氏は二十日哈爾賓に到着す可く時局多大の注目を惹き居れり(哈爾賓電報)

獨國內の陰謀露顯

獨逸國內にて計畫せられたる陰謀露顯の結果愛蘭シンフェン黨の名士百名以上は愛蘭各地にて逮捕されたり愛蘭太守フレンチ卿は是れに對し强硬手段を執る旨宣言せり(ダブリン電報)

獨宰相の戰局樂觀

アムステルダム來電=獨逸宰相ヘルトリング伯はブダペストに於て往訪者に對し予は依然樂觀的にして吾人は本年內に平和の克復す可きを信ずるものなりと言明し且曰く獨逸の欲する處は克く其の士を維持し太陽の輝く處に獨逸の地位を得んとするにありと(倫敦電報)

獨逸對印度意圖

獨逸波斯土耳古三國同盟か

獨逸の小露西亞占領は印度及び亞細亞に對する商路を開く上に於て大なる意義を包有す獨軍の高加索方面に於ける進擊の如き實に獨逸が印度方面の威嚇を企圖するに外ならず最近獨逸の政界言論界には印度方面の問題に關し非常の興味を有し獨逸波斯土耳古の三國同盟は不日締結さる可しとの有力なる說あり目下伯林には亞富汗斯坦王エミルの親友にして有名なる印度のナショナリストなるラジアエンツ滯在中なり而して獨逸の言論界は此事を極めて誇大に報道しつゝあり([illegible])

協約問題と集會禁止

北京警察總監及び天津警察長は協約問題に關し集會演說又は檄文を配布するを禁じ犯す者は拘留す可しと布告せり(北京特電)

外米賣切

廿日賣出開始

神戶門司兩港に於ける三井、鈴木、湯淺の三指定商人の外米賣出しは二十日より開始したるが三商店の外米賣出高三萬袋に對し各地よりの申込は九萬二千袋に達し全部賣切れの盛況を呈せり(門司特電)

總督雄基出發

長谷川總督一行は十九日風雨の爲め雄津行を中止し一日雄基滯在二十日朝同地より弘濟丸に搭乘十時出帆途中雄津を觀察し元山に赴けるが小原長官は淸津に上陸の筈(雄基特電)

郵便局所長會議

元山附近郵便局所長會議は廿一日午前八時より守備隊跡にて開催の筈なるが局長十五名所長十五名來會すべし(元山特電)

陸大見學團

陸軍大學生一行は二十一日午前四時半發列車にて平壤へ向ふ筈也(安東特電)

久保京管局長

久保京管局長は廿日午後八時半發にて大連へ向け出發せり(安東特電)

養生主義

鮮人の體格は立派

伊東重氏談

過日京城を訪うた醫學博士伊東重氏は、氏は青森縣弘前の人で[illegible]より一年前の明治十八年に大學を出た敬すべき老紳士である、記者は此老紳士と對話する中に、其素朴な飾らぬ態度から言葉から言ひ知れぬ溫情を感じた、同時に其思想が維新前後の國手先生の夫れに類似たるものがある樣に思はれた、當年の國手は多く儒者であり、而して國手の風格を備へて居つた、[illegible]現代化した[illegible]人である、語りて曰く

日本人は大和魂といふものを有つて居る、私も亦間違無く有つて居る、之れはお互日本國民の誇りであるが、國際、人種の至民族競爭の激烈なる今の世に於ては、此の大切なる

△魂を盛れる器 即ち國民の身體を剛健にしなければ、其の德を人類社會に布くはおろか自國の安泰をすら期することは出來ない、然るに我國民の體格は何うかといふに殘念ながら世界各國民に比し決して優越せるものでは無い之れは心有る者の齊しく憂ふる處である、私は今回朝鮮に來て、朝鮮人の體格の立派なるを見て一入此感を深うした、由て政客の團體に伍しての視察旅行中ではあるが、少しく風變りの私の事業を吹聽したい、私は國家の發展といふものは詮ずる所、國際競爭に打勝つの意味で、又個人の繁榮といふものは十分なる

△競爭力を備ふ るの意味であると思ふ、競爭力とは體力、腦力、資力の三である、此の三つの力の强弱は、餘裕の多寡に由て決する、餘裕は養體、養神、養財に由て生ずる、處で人間は身體、精神、資財に依りて生を全うすることが出來るのであるから、私は養體、養神、養財の三者を合せて養生と謂ひ、體力、腦力、資力に餘裕を生せしめ、競爭力を旺盛にするの方法は唯養生あるのみと信じ、養生主義なるものを宣傳して居る、養生主義の標語は『平生の養生は不時、止むを得ざる不養生に堪ふるに在り』といふのだ

△私の鄉里弘前 では主義を同うする者を糾合して明治二十七年中、養生會たるものを設立し、同三十八年には財團法人組織に改め主義の實効を擧ぐるに相應せる種々の事業を營むで居る、其事業の一つに養生幼稚園がある、之れには舊津輕藩士伊藤廣之進氏の住宅が其まゝ殘つてあるのを用ゐて居る、吉田松陰先生の東北遊日記に『三月朔日、晴、滯弘前、訪伊東廣之進氏(下略)三日、晴、將發、結束訪伊東、伊藤賦二絶送、二人、余次賞一詩留云、男兒欲略北東陲、離奈吾無白髙師、猶忻半日高堂話、幸爲此行添一奇、鈴木善次郎亦至、談論久之、辭出、則日已申(下略)』とある通り、松陰先生の訪うて時事を慨し、談論之を久うせられた其家なので

△園兒が養神の 一助にもとて選むだのである、毎年先生訪問の日を卜して記念會を開くことにして居る、同家の一室には大きな棚があつて、初めは使ひやうが無いので困つて居たが、不圖思付いて松陰先生に關係する文書や器具等を陳列し、之を偉人棚と名づけた、其後先生に限らず諸家秘藏の偉人傑士の遺物を借受けて偉人棚に光彩を添へて居る、養神上頗る有益であるやうに思ふ、朝鮮へ內地人の移住者が殖ねたのも役後のことで鄉黨で生れて今では[illegible]

△立派な靑年に 成つた者も少くあるまい、靑年會などの設けもあるか知らぬが、有れば有るで可し、無くば尙更、私の養生主義を鼓吹したいものである。

郵貯累進槪觀

鮮人增加率著大

朝鮮に於ける郵便貯金の累年增加狀況に付當局の調査を聞くに內地人預入者一人當りは明治四十一年度に於て二十三圓九十八錢に過ぎざりしもその後漸騰して大正六年十二月には三十七圓三十六錢に上り居れり乃ち左表の如し

年次	預入者一人當(圓)	年次	預入者一人當(圓)
四一	二三・九八	二	二九・一四
四二	二五・三九	三	三〇・三八
四三	二八・九八	四	二九・七一
四四	三一・五九	五	三四・二一
元	三〇・二九	六	三七・三六

一方朝鮮人側は如何と云ふに明治四十一年に於ては六圓八十九錢のもの大正六年十二月には二圓三十六錢に低下せりコレ郵貯預入の奬勵を當局にて頻りに行ふためその人員の增加は著しきものあれど金額の伸力之れに伴はざるためにて朝鮮の民度より止むを得ざる事なるべし

年次	預入者一人當(圓)	年次	預入者一人當(圓)
四一	六・八九	二	二・一一
四二	六・〇三	三	二・〇六
四三	五・四四	四	二・二六
四四	四・六〇	五	二・二八
元	二・五三	六	二・三六

乃ち逐年減退せし觀あれど更に之れを朝鮮人總數に對當つる時は左表の如く明治四十一年に於て一人當り八厘なりしもの大正六年十二月には十三錢九厘となり約十八倍の激增となり居れるを知り得べく當局貯金奬勵の効果が遲々たりとは云へ漸進し居れるを見るに十分なりと云ふべし

年次	鮮人一人當(圓)	年次	鮮人一人當(圓)
四一	〇・〇〇八	二	〇・〇六七
四二	〇・〇〇九	三	〇・〇七二
四三	〇・〇二五	四	〇・〇九〇
四四	〇・〇三三	五	〇・一一九
元	〇・〇五一	六	〇・一三九

而して在鮮內地人の一人當り現在高は左表の如く極めて順調に發達し居れり

年次	內地人一人當(圓)	年次	內地人一人當(圓)
四一	一・二一七	二	一・七二一
四二	一・四七一	三	一・七九五
四三	一・九〇五	四	二・三五七
四四	一・七四七	五	一・七四一
元	一・七八〇	六	一・九三四

尙ほ本表の基礎となれる明治四十一年末の內地人預入者は六萬九千六百人金額百五十萬圓朝鮮人一萬一千人金額七萬五千圓に過ぎざりしも大正六年末には內地人二十二萬二千人乃ち約四倍金額九百四十萬圓乃ち六倍朝鮮人九十六萬人乃ち約九十六倍金額二百二十六萬圓乃ち約三十餘倍の激增を示し居れり尙ほ右預入者中には役所學校にて一冊の郵便貯金帳を所有するもの規約貯金に加入し自宅にて又別に貯金する者もあり之等は同一人なるも二人に計算され居れる故に實際の預入者は前揭の數字より若干少なかるべしとの事なり

東拓水利調査

東洋拓殖會社京城支店土木課にては目下の所實施しつゝある水利開墾工事はなきも既報の如く黃海道延安平野の二萬町步灌漑事業を筆頭に西鮮南鮮中部朝鮮を通じ水利事業並に未墾地干潟地の開墾に付多數調査中の由なるが成案出來せるものは一件書類を取り揃へ總督府に許可の申請をなしつゝあり尙ほ一二近く許可さるべきものあるやにて許可に接せば直ちに工事に着手する方針なりと

東拓定時總會

東洋拓殖會社の第十期株主定時總會は廿一日午前十時より東京商業會議所に開催既報の如く大正六年度の營業成績利益金分配案並に一千萬圓增資の件等を附議する由

京畿米豆檢査成績

京畿道管內米豆檢査の本月中に於ける檢査成績狀況を聞くに米檢査總數二千二百六十一叺合格米一千八百六叺にて不合格米の原因は乾燥不充分包裝其他夾雜物等にあり又豆檢査總數二萬三千五百九十七叺にして內合格豆一萬九千六百八十叺を算せり不合格豆の原因は包裝の不完全及び夾雜物等に基くものなり

開城社增資申請

合名會社開城社は本月七日資本金二十萬圓を五十萬圓に增加する事に決議し總督府に許可の申請を爲せり

支那新聞論調穩健

日支軍事協約の趣旨を了解す

支那新聞は一般に日支軍事協約が從來疑懼妄慮したる如く支那に取りて危險なるものに非ず單に日支兩國が共同の敵を防衞する場合に執る可き必要の手段に就き打合せたるのみなるを了解し其の論調穩健となれり(北京特電)

海軍關係協定調印

日支軍事協定事項中海軍に關する部分は十九日午後三時半無事調印を了したり(北京特電)

日支協約と米國

日支軍事協約に關し米國通信社並に盛頓通信員の報道に曰く米國は極東に於ける協同軍事行動を以て滿洲守備を主要の目的とせる純然たる防守的のものなりと諒解す現在にては右行動に加はるは日支二國のみと(紐育電報)

陸大生視察日程

廿二日夜入京すべき陸軍大學校職員學生の京城に於ける視察日程左の如し

▲職員の部 [illegible]

▲學生の部(岡田師團副官小泉中尉案內)▲廿二日午後七時十四分龍山驛着直に龍山師團司令部將校集會所に至り宿泊▲廿三日午前八時[illegible]

公醫講習會

警務總監部にては十八日より構內に於て公醫講習會を開きたるが出席者は各道二名宛合計二十六名にして開期は二週間の豫定なりと

人事消息

▲櫻井小一氏(仁川稅關長) 二十日夜入京南山尾旅館へ
▲南馬之助氏(安東鈴木商店支店長) 二十日夜入京
▲織田信照氏(大連鈴木商店支店長) 同上
▲菲要三郎氏(東京工業家) 同上

百聞百種

▲大戰開始以來各交戰國では戰死士卒の孤兒が非常に多くなつたので其の敎育問題が大分研究せられつゝある▲佛國では此の戰爭孤兒を養育する目的で全米國百二十五の大小都市に亙つて佛國戰爭孤兒養育會なるものが組織された▲會長はジョッフル將軍副會長は大統領ポアンカレー氏を推薦し毎年一人平均七十七圓の經費を支出し約八萬人の孤兒を養育する▲而して同會の趣意に贊成して一口七十七圓の會費を出すものは即ち佛國で形式上の養子をする事となり▲子供の方から毎月學校の成績や家庭生活の模樣などを手紙に認めて通信する▲中には寫眞を送つたり人形のお禮の手紙なども送る小供もあつて斯うして長く手紙の上で親子の關係を結むで居るが其結果は却々可いとの事である▲朝鮮でも斯う言ふものをこしらへたら更らに鮮人の同化上に於ても頗る有益ではあるまいか▲差し當り內地の成金諸君御贊同にはなりませぬかね▲統計家の柳澤伯が先達土佐へ講演に出掛る途中汽車中で其事を話すと▲相手の男は左樣々々と頻に相槌を打て居たが其の鬪鷄は何です元來が土佐の名物でしてね……▲統計が鬪鷄になつたのだから堪らぬ流石の柳澤伯も閉た口が閉がらずナールほど

暮春

服部江南

寂寞城頭行樂人。南山但見翠光新。養花雨又惜花雨。盡日霏微綏洗春。

又

滿城騷客幾春風。九十歲華容。一瞬啼鶯老雨。不移新綠宿殘紅。

大阪だより

▲警戒すべき事業界 [illegible]ことは既報の如し然かも事業流行の繁風は依然として昨今何れも旺盛[illegible]

[illegible]は二億六千三百三十六萬五百圓に[illegible]して前月に比し一千三百六十七萬圓に過ぎずして其の內容頗る薄弱な[illegible]千圓合計九千六百六十九萬二千圓に[illegible]八十圓に達し前月より更に五十五社一百十八萬八百八十圓を增加せ[illegible]然かして本年一月以降四月末日に[illegible]を超過せるも其の大部分は三井、三菱、古河、大倉等大規模事業家の組織變更に基づく隱れたる投資力が表面に現はれたる[illegible]中に張資本の戰後に至るもよく現勢を支持するを得べきや否やは最も危ぶまるゝ處たり即ち前記の如く年初來整理[illegible]團の大勢は頗く樂觀を許さず就中生產費昂上の爲め收益率の減退に漸く經營難を招致せる結果は配當減を恐れ努めて繰越金又は積立金[illegible]

女學世界 六月號

口繪 ◆梅雨晴(彩色石版)今村紫紅外六種 ◆女學生寫眞帖 婦人最近時事寫眞
新時代を代表すべき婦人 麻生正藏
若き婦人の結婚と志望 沼田笠峰
◆若き婦人にお勸めしたき事 左近まつ子
◆女に生れた事を誇りとせよ 大村桂巖
◆大阪の歐米に出張する 田子しづ江
◆精神的危險に瀕せる大阪の娘 藤堂忠次郎
▼米國へ遊學する千葉道子孃
▼女子大學出身の名流婦人 三味線草
▼博多婦人界の花形 紫陽花
私の要求 黃菊…彌生…みどり…むらさき…あやを
▼歌曲しづはた帶 平井晚村
▼挿げられぬ花はない 近藤正一
▼六月の手紙 ▼女學校通信 ▼女學新聞
◇婦人の職業看護婦と助產婦 婦人記者
◇いろ〳〵のローマンスに富む指輪 石黑露雄
◇六月の出る單衣と帶 婦人記者
◇汗の出る頃のお化粧の仕方 小口みち子
浦島の傳說と歌 淺田うつぼ
哀話 苺の熟する頃 野坂貞子
歷史物語 蕾の濡れ髮 白露洞主人
長編小說 陽炎(何な道で若きも涙を唆る) 佐藤紅綠

六月號

家庭と女學生に 婦人に
家庭雜誌 一冊十五錢 郵稅一錢半
女學世界 一冊廿三錢 郵稅二錢
東京本町 博文館 振替東京二四〇番

家庭雜誌

元氣に乏しい今の婦人…土方久元
働くに越した寶はない…孫悅孝子
落第生と家庭の注意…稍葉彥六
家事は實驗を土臺とせよ 伊藤千代子、新井千代子、岡野たか子、前田ぬい子、山田津留子 諸方の有益な大切な記事
理解を有せぬ家庭…安木六郎
育兒に人眞似は大禁物なり…武田ひさ子
十一人の子供を育てた實驗…嵯峨なか子
家庭の常識(虎年の話)…鵜川斎
家庭から肺病を除け…佐久間千代子
家庭常話蘆のやかた…佐々木吉善
新時代に伴ふ新生活 三輪田元道、河田みか子、佐治實然先生方の記事
◆入梅前後に於ける家庭衞生…齋藤勝夫
◆腋臭は手療治で全治する…加地代吉
◆夏座敷の飾り付け方…櫻井ちか子
▼婦人に相應した手紙の文體…桑田春風
▼日々の獻立を研究せよ…中村柔代子
▼若葉期の安價料理 ▼最新流行夏向の束髮
歷史小說 海賊船(好評第二回) 岡本綺堂
小說 紐鏡(每號大歡迎)四回 北島春石
特別記事 ◇新式四季の裁縫…井上松野子
◇挿繪小說 雲のゆくへ…長田幹彥作 伊東深水畫
◇現代婦人の作法…手塚かね子

主婦之友 六月號 母親號

主婦の模範と仰ぐ皇后陛下の御日常(大森男爵)
◎胎敎によつて偉い子を產んだ母(下田次郎)
◎母親の修養が子供に及ぼす感化
◎二兒を殺した若い母の懺悔物語(本誌記者)
家風問題 ■大審院長 横田國臣 ■農學博士 新渡戶稻造 ■前電氣局長 棟居喜久馬 ■博士夫人 寺尾きく子
安產と難產 ◎拔毛の素人療法と美髮になる法(土肥博士) ◎姙娠中の便秘は恐しいもの(小畑博士) ◎姙婦の罹りやすい精神病(石川博士) ◎お腹を切開して子供を產んだ經驗(高野夫人)
姙娠中の婦人は後で後悔せぬやうに此の記事を讀んで難產の豫防と安產の秘訣を學ばれよ
內職の大王はウヅラ ウヅラは毎日產卵して而も其値は一個廿錢で飛ぶやうに賣れる。飼ふに場所も要せず。誰にも飼へる。僅か廿羽のウヅラから月收卅五圓を得て居る某家の實驗記事。これを讀めばウヅラに關することは一切わかる。
實用記事 ◎家庭で出來る絞染の浴衣地(とく子) ◎廢物で新式ネクタイ作方(三代子) ◎四十錢で出來る子供の夏帽(せき子) ◎本職に及ばぬ家庭洗濯 ◎經濟で美味な[illegible] ◎初夏の食卓を飾る手輕料理(とし子)
定價金二十錢送料一錢五厘半年一圓廿五錢
東京神田表神保町 振替三三七八六 東京家政研究會

法人登記公告
遂安地方金融組合役員變更事項
一組合長改選 組合長 [illegible]
右大正七年五月拾八日登記
海州地方法院遂安出張所

債券飛切高價買入
[illegible]

賣値 五圓券廿錢 十圓券卅錢 廿圓券四十錢高ヨリ 公債(送料十錢要)御買取扱商品切手高價買入 大阪南區 電話南一六八二 振替大阪五八三七 鹿海商店

募集 校外生 本科生 專科生 大阪分校新設紀念特典として莫大の收入を得る技術を提供す 東京京橋南紺屋町 自動車學校 規則書を求め必ず請求し直に

富の道しるべ 山縣五十雄・村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇〇番

京日案內 ▲普通 一回前金 一番外 二回 [illegible]

◉テンプラ テンドン 柳川鍋 遠近に不係仕出可仕候 南大門集會所隣り 福島屋 106
◉店員入用 年齡二十歲以上二十五歲迄 京城本町二丁目 日之出商行 91
◉店員入用 年齡廿一歲以上 外交員一名 朝鮮語に通ずる者 入用 南地二丁目 菓子商 102
◉當隣商業卒業者 日鮮人貳名入用 南大門通り五丁目 齊藤商店 93
番外 業主歸省中の處歸宅從前の通り治療に從事仕候 うちみ くじき 整骨所 明治町 仁済堂 105
女中入用 品行善き二十歲前後の人 南山町 松園 92
朝鮮パナマ帽子 製造元 京城本町二丁目 101
上月質店 京城若草町 99
舊恩給 博多屋本店 86
勸業高價買入 64
魔法瓶 中瓶 取替 53
高木旅行用具店

…世界の趨勢を顯せるに伴ひ昨年の新興氣運に乘せる好況時代を過ぎ漸く警戒すべき整理時期に入れる…

[illegible]

前記の如く四月中の計畫資本總額一千[illegible]せり然れども其の中堅經濟のもの[illegible]の減少を來たせる[illegible]同月中の[illegible]は新設に於て六千六百二十九萬八千圓擴張に於て三千三十九萬四千圓解散會社は數に於て百二十九此の拂込資本額三百二十八萬二千五百圓[illegible]

[illegible]十萬圓合計九億七千八百四十八萬圓[illegible]にて四億一千二百八萬圓昨年同期に對比して空前の記錄を呈現し[illegible]千萬圓は全くの純增加にして然かも之れ等の事業の創立は時局關係により生れたるものに屬し果して[illegible]綱々淘汰率を昂め堅實なる進展をすべき現象にして大局より見て[illegible]示す新設會社は其の割合益々減少するに至るべく既設會社と雖も[illegible]後準備として此の機會に於て根本より其の改善を計るの要あるべし

鮮人の食料消費高
＝京城商業會議所の取調に現はれた計數
白米一石六斗
◇一人一年の消費高として
◇内地人の一石より多い
◇豆類粟類の消費量は尠い

京城に於ける食料品の消費量に關しては未だ正確の計數を以て調査された事もなく又充分な調査を遂げる事も甚だ困難な事であるが本年四月專修學校教授の須藤氏に京城商業會議所が依囑して

▽鮮人の食料 品消費量に關して調査した平均量を觀ると京城市内の食料品消費量を考究するに有力なる參考資料として行政官のみならず一般人士に取つて可なり便宜を與ふる場合が多からうと信ずる依つて米豆肉菜其他に關する鮮人一人一年間の消費量及び其人の消費量即ち京城市中鮮人の消費量を掲ぐると次の如くになる

▽人口十八萬 四千五百二

品目	一人一年間分	全京城消費量
白米	一石六四四石	三〇三、三二一石
小豆	一五四合	二八、四一三石
大豆	一二八合	二三、六一六石
醬油	一七〇合	三一、三六五石
肉類	一七斤九七	三三一五、五〇〇斤
蔬菜	三七斤三	六八八一、九二四斤
鹽	一一四合	二一、〇三三石
唐辛	五九合	一〇、九二二石
砂糖	四斤五	八三〇、二九九斤
酒類	五九合	一一、〇一四石
菓子	一一七合	二一、七五六石

そして前掲の計數は鮮人三、四十家族の消費量を平均して算出した數量で其の結果から見れば

▽小供も大人 も通じて計算した事になつてゐるそれにも拘らず鮮人が白米を一石六斗五升も食べると言ふ事は内地人の消費量に比べると聊か多量な樣な感じがするといふのは内地人は一人平均一石として計算すれば大差ないものと見てあるからで豆類の消費量は反對に少ない樣である粟の消費量も少ない樣だ但し此の計算を爲す爲めに拉し來つた家庭は大抵

▽中流以上に 屬するものが多いと言はねばならぬと言ふ事だが商業會議所では更に須藤氏の助力を仰いで調査を精密にし追つて内地人の食糧品消費量に關しても計數を示さうと計畫して居るとの事であつた

牡丹見物
二日目は五百人
錦上更に花を添へて

仁政殿の牡丹は二十日も引き續いて觀覽を許された是程の花は滅多に見られぬ上仁政殿内の元の玉座から幽邃な秘苑の觀察も出來るので觀覽者は豫定の午後一時から續々と詰め懸ける、フロックコートの人軍服の人紋付袴樣の人など美しく入り交り錦上更に花を添へつゝ賑ふ賑ふ、牡丹は前日の雨に一層の生氣を得たもの丶如く色とりぐに妍を競ひ例へば厚化粧の女が十二一重を著て起つたやうな濃艶さを見せて居る、觀覽者には例に依つて西行閣で茶菓の饗應あり時間中は絶えず李王職洋樂隊が爽快な歌曲を奏して興を添へた、觀覽者は十九日が約三百人二日目は天氣が好かつたので前日よりもズッと多く五百人に達し中には市川參課長、和田鐵道局監理課長、柴崎京中校長、法院判檢事などの顔も見えた

伊國飛行家戰死
有名なる伊太利飛行家レスチナ氏は戰死せり(倫敦電報)

不動の傳說
不動盜賊 (一)
埋藏の不動を盜むために薪賣を聟にする

◇白銅發掘について古老が話した

數日前元度支部の跡から白銅の地金が十一個掘り出されたことは既報の通りであるが舊韓國時代には國家の大變に處する爲めに

◇不動と云つて金銀銅の塊を人知れず土中に埋藏して置いたものださうだ、これは度支部ばかりではなく其の他にも埋藏された場所があり大きな寺などにも大金が埋藏されてあるやうに言ひ傳へられてある。

◇然し其場所は極秘密に附せられたものであるから知つて居るものは其の當時當局者か其の事に關係したもの丶外は無い筈である、此度掘り出された白銅の地金も其の不動の一つに屬するものではないか？……この不動に就いて某朝鮮古老は面白い傳說があると云つて物語つた

♣昔この ※※ 不動を盜み取らうと企てたものがあつた。その賊には一人の妙齡の女があつたが、彼れは誰れ彼れと聟の申込みがあつたけれども皆之を斥けて居つた彼れの氣に入る聟は世の常の良き聟では滿足が出來なかつた。彼れは毎日市中に出でてその聟殿を物色して居つたが或る日地方から牛を牽いて薪賣りに來たものこそ骨格逞ましく一見

♣偉丈夫 であるのが目に付いたので早速彼れを我家に伴ふて佳酒佳肴を備へて我が女の聟たらんことを懇請した。薪賣りは夢ではないか狐につまゝれたのではないかと疑つて見たが矢張り夢でもなければ狐につまゝれたのでもなかつた。かくて彼れは

♣薪賣を 聟として黄道吉日を選んで目出度結婚の式を擧げたが十日ばかり過ぎると彼れは聟に向つてその意中を語り色々の道具を出してその方法を授けたのであつた。かくて彼れは薪賣の聟に色々に試して見たが中々見込があるそれから毎日知れずその修業をさせたが一年ほど立つ中にはこれなら

♣大丈夫 と思ふまでに技量も上達した。そこで彼れは或夜を期して之を決行すべく萬事準備を整へ日の暮るゝを待つたのであつた。

東照丸の船長 地中海より歸る
伊太利政府に傭はれ地中海にて沈沒したる東照丸船長筒井富吉氏は航海日誌を携へ廿日朝上海より入港の近江丸にて下關に上陸し直に大阪に向ひ出發したり(門司特電)

自動車河に墜落
四名溺死す

東京府下大森町帝國飛行學校練習所自動車は同校助教授林義則氏運轉の下に男女十名を乘せ十九日午後十一時過横濱花咲町櫻河々岸より河中に墜落し中四名は溺死したり(東京特電)

南洋で働く
◇光瑞師は歸らぬ

＝下關で光明師曰く＝支那に行つたのは恰も一箇月前の事だが今回は上海に兄を迎へて夫れから兄を大連に同行したのであるが兄の病氣はアミーバーと云ふ

◆疑似赤痢 で此の病氣は立派には癒らないが一度半癒せばそう活動には差支はない予は三十七八年の戰役中に滿洲迄行つて四十年に上海迄行つた限支那の狀況は一向分らなかつた今度行つて上海市街の立派であつた事は驚くばかりであるが

◆天然の風 光は更に變つてはゐないこの頃の新聞に兄が内地に歸つて行脚をして廻る樣に報道されたが決して左樣な事はない内地に歸るやうなら遥々南洋迄も飛出しはしない植民地に於て立派な國民を養成して傍ら農業を開發するのである目下

◆健實なる 少年を募集中である問題は主として數學に重きを置いてゐる論文等も『故郷に錦を飾る』と云ふやうな事は成べく避ける方針である股肱として常に兄が使つて居るのは堀賢雄と水野梅曉兩師位のものであらう水野君は我眞宗僧侶中での支那通で堀君は大連に

◆學校を建 てる相談役に急に呼寄せたのだが學校が出來れば堀君は多分監督役になるだらう我々兄弟は共に力を併せて南洋で働く決心をしてゐる兄は六月上旬行く筈だが上海香港を經て南洋に行くか又は門司に引返して直行するかは不明である予は本年の冬に弟の尊由と共に行く豫定であると意氣軒昂たるものがあつた(下關)

關五段と山三段の對局

目下入京中の老棊客五段關源吉氏對三段山下壽氏の對局は廿日午後一時から南米倉町の京城倶樂部で開かれた綠茂つた廣庭に面した座敷で盤面に向ひ合つた兩氏は山氏の先手で烏鷺を鬪はし始めた折しも窓外は烈風吹荒び稍凄の唸りも物凄い程であつたが兩氏の態度は落付いたもので關五段は[illegible]下せば山三段は盤面と睨め合つてパチリ、何分京城では稀に觀る對局なので參觀者も固唾を呑むで居たが戰局進むに從つて互ひに熱し約四時間の後局を結んだ布局は數日後の本紙上に掲載する筈(寫眞は向つて右關五段左は山三段)

米國帆船燒く
神戶碇泊中

十九日夜神戶碇泊中の米國帆船エリス號(三千八百五十噸)船内に火を發し損害多し(神戶電報)

鳥取の火災
罹災民二百餘

十九日鳥取縣岩美郡富桑村字西品治なる九田平四郎方物置より出火し全燒三十一棟納屋十五棟倉二棟半燒土藏三棟にて罹災民二百餘名に炊出しをなせり(鳥取電報)

高女記念會
式後學藝會を

京城公立高等女學校にては二十三日創立十周年記念日に相當せるを以て同日午前九時より校内に於て記念式を行ひ式後左の如き學藝會を催すべしと

一 金剛石(唱歌) 各學年生徒全體
二 征衣上途(朗讀) 二年 酒井つる
三 院の莊(唱歌) 三年 二十三名
四 ヘレンケラーめくら鬼(英語) 四年 大河原ふじ 小田[illegible]
五 お祖父さんお祖母さん(唱歌) 一年 十名 杉[illegible]
六 席書 二年 上井 三年 上野
七 卒のなさけ(鐵道開通)(獨唱合唱) 卒業生 渡邊花子 市村きよ 野村[illegible]
八 ユーゴーの母(讀話) 三年 [illegible]
九 胡蝶(唱歌) 二年 十五名
十 對話(朝鮮語) 三年 石堂 野崎 [illegible]
十一 日本國(三重唱) 四學年 二十五名
十二 席畫 二年 江原幸子 千井玉野
十三 祝歌 各學年生徒全體

憲警消防運動會
京龍に於ける憲兵警察官及び消防隊聯合にて六月八日獎忠壇にて運動會を開催すべく目下計畫中なるが參加人員六百餘名との事なれば定めて盛大なる可し

恐ろしい小兒の疫痢
手遲れゝば死ぬ

◇未熟の果物に注意 氷菓子の店頭が賑やかな頃になりますと毎年きまつたやうに恐ろしい疫痢が市中に流行してまゐります五六歲から十歲位までのお子さんを持つお母アさん方の參考までに此病氣の概略を某醫學士に伺つて見ました

◆此病氣は一年中ありますが殊に梅雨時分と秋口に多く强い傳染力をもつた恐しい病氣でありますす病源體は腸内に發生する一種の黴菌で五六歲から十歲までの子供に多い病で起り始めは急に三十九度以上の高熱が出て、脈膊が非常に多くなり患者の精神は無邪氣な子供に似合はないほど、神經質になつて來ます。そして時に痙攣したり

◆下痢を催 したりしますが急激のになりますと、廿四時間以内に死んでしまひ、十中の八九まではよほど早く手當をしないと見込みがなくなるのでありますですから、子供の熱が急に高くなつたり、脈膊が多くなつたり子供の狀態が不安さうに見えましたら時をうつさずに醫師の診察を乞ふがよろしい

◆早く注意 して、腸胃を洗滌し腸内の惡いものを一掃すれば助からぬこともありません、これからは旨しさうな果物の出る時節ですからお子さんのある家庭では、よほど注意してまだ熟しきらない果物をむやみに與へたり、生のまゝ與へたりせぬやうに注意なさることが肝要です。熟しきらない果物等によつて此病氣を誘導する例が屢あるのですから市中に賣つてゐる果物を子供に與へる時は特に注意しなければなりません

留詐欺
＝僞電報を見せ
◇明川の富豪を欺く

城津旭町雜貨商朝鮮人鄭某は明川地に於ける巨商にして内鮮人間に信用もあり取引者多きものなるが三月中旬一時底知れずに低落せる

◆露貨の 價に鼻息し三十錢を突破したる後又もや下向きとなり城津相場十八錢明川地方二十一錢を示せる頃奸智に長けたる鄭は奇貨措くべしとなし同業なる金伸河外三名と共謀し明川の富豪金周淵を欺くべく鄭は自ら

◆六千留 を携帶して明川に赴き金伸河は鄭の明川に到着したる頃を見計ひ城津地方は留の相場四十錢なりと云ふ意味の僞電報を鄭に宛て發すると共に金も亦千留を携帶して明川に赴き兩人は互に知らぬ風を裝て宿屋を別に取り

◆金は買 方となり鄭は賣方となるべく茲に準備出來上りしが鄭は尙ほ『四〇セン』と記せし電文を『四五セン』と改竄し早速人を介して金周淵に向ひ六千留を賣るべく例の僞電報を示して交渉したるに三十五錢ならでは買受け難しと金の肯んせざるに對し鄭は他迄四十錢以下にては手離さずと言張り互に押問答の商談中へ金より四十錢ならば自分が買受けんと金周淵を唆かし結局七千留を二千四百五十圓にて賣渡し逃げるが如く城津に引揚げ詐取したる金子は一同にて

◆分配し 何喰はぬ顔を爲し居たるを城津警察署の探知する所となり一同檢擧取調べの上城津支廳にて判決言渡されたるが首謀者鄭は懲役十月に他の四名は各六月に處せられたるを不服として控訴せりと(淸津)

朝郵平安丸擊沈さる
十九日浦鹽港内にて

大豆及び豆粕積取の爲め浦鹽碇泊中なる朝鮮郵船會社の平安丸は十九日同灣内にて何者かの爲め爆發藥を以て擊沈されし旨同夜敦賀の荷主へ入電ありたりと(敦賀電報)

▼眞疑判明せず 爆沈は訛傳か

右につき朝郵當事者曰く『平安丸が爆沈されたといふ事は未だ當方に何等の通知が無いから眞疑は判明しない、しかし同船は過般敦賀を出發し浦鹽に向け航行中暴風雨に遭ひ北鮮某地に避難中の報知が有つたから未だ浦鹽には入港せぬ筈で爆沈說は何うも信ずる事は出來無い、要するに同船は豫定期間内に浦鹽に到着せぬためそんな風說が流布されたので有らうと思ふ兎に角確報を待つた上で無ければ何とも云ふ事は出來無い』

男女 情の手紙
當代一流の美文家吉田島山著
◆著者が其心血を絞りたる手紙集にして惱ましい運命に泣く男女の手紙さては根み世を呪ふ青年の手紙女を根女もあれば淸く美しい少女の告白もありて何れは同じ戀の惱みか細々として盡ぬ情緒、切々たる情火の閃きは一讀千行の熱涙を催さしむ、見よ
◆艶麗の筆！悲痛の調！其情の如何に切にして其思ひの如何に濃やかなるかを、今回五百部限り特價六十五錢(菊半截三七〇頁)にし尚此際注文者に限り手本を無代添付進呈す希望者は新聞名記入注文次第代金引換送料實費にて送る(前金注文は送料不要)
東京市芝區南佐久間町六の三 有敎社 振替東京二七四七三番

てんかん病 ヒキツケル
バカヤキチガイとならぬ先迚に只一回試みられよ多數の全快者あり
封入申込あれ困難の方切手三錢でもヒミツニナオス永年の病者も自宅療法の詳細を無代で速に申込みあれ
名古屋市南小川町 救生舘

種子の撰定を誤る勿れ??
●蠶桑純粹特撰新種子 壹升に付 金六圓
●砧木用特撰新種子 壹升に付 金四圓
新種子は五月廿日より迅速送付可申候(送料不用)
尚多量御注文は價格割引の御相談に應じ可申候
營業科目 蠶種製造販賣 農具肥料販賣 杞柳栽培加工販賣 綿花買入製造販賣
朝鮮京釜線芙江驛前 忠淸農林社 振替口座京城五一三二番 電略(ノ)又ハ(ノウ)

易斷
高島易斷本部主事高島呑明先生出張
受付 午前八時より十一時まで午後三時より十時まで
場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前(電話一五七三)
神易協會 高島易斷本部

募集員採用
當會社福岡支部の所管たる朝鮮に於て募集に從事する者數名採用す資格は經驗の有無を問はざるも年齡二十五歲以上身體壯健にして相當の學歷を有し上中流の人士を訪問するに適當なるべき性格を具ふるを要す希望者は自筆の履歷書封入左記京城代理店内福岡支部長宛親展書を以て申込まるべし追て六月上旬支部長朝鮮各地出張先に於て會見の上採否を決す會見の通知なき向きは不採用と承知ありたし
千代田生命保險相互會社
福岡支部長 堀田宗一
京城代理店主 佐野彥藏
京城代理店所在地 京城本町二丁目三十一番地

有給社員採用(十名限り)
希望者身元保證人を要す 履歷書持參本人來談のこと
京城永樂町二丁目(交番横) 德田商會 電話二三二五番

大飛躍大發展
＝京城第一の大人氣＝
第三回 ミラの秘密 第五・六篇
二十二日限り
次回は壽座に於て公開可仕候
黃金館

太田トランプ 吉凶禍福的中 占斷所開設
料金は當分の内御依頼者の任意にて最も懇切に占斷可仕候
京城府櫻井町一丁目百三十二番地(本町より入る右側五軒目)
佛力堂 高橋竹野

曹達灰入荷
京城府太平通二丁目三百二十六番地
株式會社常盤商會朝鮮營業所 電話長五七六番

漸ク縞シャツ ノシーズントナリマシタ!!
柄ノ精巧ト地質ノ完全ナ蝶矢印ガ今年ノ流行ト定リマシタ。
登錄商標 朱子入マドラス ゼファーシャツ
大阪 東京 潮谷商會

李太王殿下御用品
◎白蔘ヲ原料トセル人蔘エキス(金褐色ニシテ紅蔘ト同色ナリ)結力强ク苦味中ニ甘味ヲ加ヘ風味佳良ナリ
◎黑色ノ人蔘エキスハ多ク尾蔘ヲ原料トシ苦味多ク風味皆無ナリ
御注意 本劑ハ高價藥ニシテ其ノ品質ニ太ダ差等アリ購求ニ際シ御撰擇アレ見本及說明書進呈ス
白純 蔘良製 人蔘エキス

定價表

容量	上製品	特製品
十日分	一圓	一圓五十錢
二十日分	一圓八十錢	二圓八十錢
四十日分	三圓二十錢	五圓二十錢

京城府南大門内正面 朝鮮人蔘製劑所
電話三〇一〇番・振替京城四四九四番

下期明米
二十日前場 當限 [illegible] 中限 [illegible] 先限 [illegible]
二十日後場 當限 [illegible] 中限 [illegible] 先限 [illegible]

大阪期米
二十日後場 …一圓六十五錢先六十五錢と十錢高に寄付一圓八十錢と上伸し後七十錢六八錢を採合ひ小強き成行きに打
十九錢八錢九錢八錢三節七十六錢 七錢六錢八錢七錢八錢四節七十六 錢七錢八錢七錢八錢
平均値段 [illegible]

花吹雪
大阪 中谷 杏霞

(三十七)

『某が役もない腕立より思はぬ煩ひを惹き起し、親殿始め若様にまで御心痛させ申し、一旦の御奉公も得致さず、お暇給はる身の不所存、何と申さうやうもムりませぬ只清兵衛奴が胸中御推察願はしうムります。』

主税之助が居間へ一期の別れと暇乞ひに伺候した井戸清兵衛、夜陰乍らこれがお邸の見納めにならうも知れぬと思ふと、日頃見馴れた書院の襖も、何とはなくつくゞゝと打眺られて、鬼と呼ばれた身にも、先立つものは涙である。

『今更申すも甲斐ない事、なれど、お事が不所存とのみは申されぬ儀、只忌はしきは建部が離間、幸に浪人の身となつて邸に累は及ぼさぬにせよ、危きはお事が身、手を廻して如何なる處置に出でやうも知れぬ建部が横車、なれど必ず可う分別して危難の免るゝやう、命さへあらば又如何やうともなる儀、清兵衛構へて短氣を起さず、再び花咲く對面の期を待つて呉りやれ。』

纏りゆく端檠の火に顔を反向け、主税之助も名殘り惜しさに涙の落つるを堪ゑぬ状。

『有難き仰せ、清兵衛身に沁みて忝うムりまする、再び歸來相叶ふやうの儀もござりますれば、偏にお執做願上げまする、再度の御奉公には必ず御恩の萬分一も報じまする心底、如何やうの儀はさうとも命全うし見參の期しまする所存、若様にも御健壯の程を々願はしうムりまする。』

『それに就けても清兵衛、お事が行末邸を立退き何れへ參る所存な、苦しうなければ聞して呉りやれ。』

『其儀は未だ何處を的とも定りませぬ只天涯漂浪の孤客ともなり、許方を浪人の與ひ、兎も角もお邸を今宵のうちに彷徨ひ出でまする所存。』

『なれば清兵衛、お事も知つてゐやろう、柳島妙見院の老僧雲泥律師は、身が慄ねてより師と賴む碩徳、委細を打明け物語らば、身に引受けても匿まふて下さりやう、世を忍ぶには屈強の寺院、賴みの状も認め置きたれば、一先づ其處に立退きやれ。』

『何から何までお心添られ、千萬有難き仕合せ、さらばお言葉に隨ひ、一先づ雲泥老師の許に參るで御坐りませう。』

『就ては清兵衛、今一儀お事に賴みたい仔細があるが、聞いて呉ゃろうか。』

『公然主従の御縁は御坐りませぬにせよ、切ることとならぬ心の繋ぎ三世のお主で御坐りまする、お賴みなど、は聞わぬ儀……。』

『聞いて呉りやるか。』

『何なりとも仰せ聞けられませ。』

『清兵衛外の事でもない、何時ぞやお事にも話し聞いた遊女唐土、ここ、氏素姓も正しい生れ、尋ぬる叔父にめぐり逢ふまで身を許さぬと心に誓ふた清淨無垢の身、末は添うと交みに許した事あつて、記念の笄も遣はせし中、此度の事の起りもこの唐土故の思はぬ逢引、建部が日頃の横車よも其儘には措置ぬは必定、幸ひ柳島より程遠からぬ小梅の寮に出養生の折から、お事陰乍ら力を添へて遣つて呉りやろやう、又この一通折もあらば唐土に渡して呉りやれ、賴みと云ふは此一儀ぢや。』

云ひ乍ら主税之助書狀取出し清兵衛が前に置く。

『委細の儀心得てムりまする、必ずお心安う思召せ。』

折から初夜の鐘更なと響くに、清兵衛は乾となつて。

『さて夜もいたく更けた樣子、斷くても名殘りは盡きませぬ、建部方に覚られぬうち、主税之助様、さらばこれが暫しのお別れでムりまする。』

夏物新柄着 ⊜ まる三呉服店 京城本町二丁目 電話一五七 振替貳六五

日報歌壇

○旅に歌へる　本間 素月

古驛旅のやどりのおさふしはいかにわびしきものさかはしる
梁の下あごのあたりにたけながく生ひたる髪のかなでゝさびしも
生業のことのしげしさ今日もかも涙ぐましく別れは旅ゆく
春が今日のあるを思へばすぎし日の嘆きも總もにくからなくに
むら咲ける勿忘草を苔がつみてものたらなさにめでゝけるかも
かくはあれしかはあれさぞ思ひたるこその成る

緒環　小谷津芳郎

○錦城臺にて
枝されば若葉はあかるく光しておとなふらし春の宮庭に
うつとりと林檎の花のひさしらが散りて靜まる錦谷の丘
○スヰートメイ
さみどりの若葉そよ吹く風のありテニスのあとの疲がなつかし
若き日のわれらの月ぞ若き日のわれらの時ぞたのしき五月

技術紹介(村一夫) 京城本町 千代田寫場

日報俳壇

春季雜詠　佐多女
草原に選しき鳳や山焼くる　同
前りて來し鍬の重さよ菊根分　同
山吹にたゆたひて雨晴れにけり　同
獨在りて觀る木蓮や庭の月　同
病院
木蓮の窓に讀書す患者哉　同
繃に迎へて兄と歩くや町朧　同
引越荷の綱弛みたる朧かな　同
絲付構に干す足袋畑麗ら　同
麗や高枝波る鳥の聲　同
わけも人戀し夜や鳴歸雁　同
青柳や屋根の爲を稱める燈　旅

不忘碑の或は倒れて畑麗ら　同
鬪鷄の塲所移り往く人輪哉　同
七の色雨待ち顔や菲畑　同
連翹の門深く住む詣哉　同
風呂を焚く烟が飛ぶ桃の雨　同
井一つに生け古邑や桃の花　六轡
試力鎚切りて窟や夕幸受　同
一湖に漂ふ汽車の烟や花菜風　同
一叢の水に折れ咲く花菜かな　同
寄れ菜の花一本や流しもと　同
麥畑の醜草抜くや揚雲雀　同
船に住を臆に炊ぐ火や水朧　同
鋤返へす土に螻蛄飛ぶ春日哉　同
山門を犯す葷酒や山笑ふ　弓由
蛇皮線を抱いて日永き男哉　同
石佛の背が伸るかに日の永う　同
仁を説く儒者長髯や日の永き　同
我逝べば時計忘る日永かな　同
如月の畑に殘れる根深かな　霞山
暮遲き丘の暮色に染まる塔　同
菜の花の夕日に染ゆる二階哉　同
土橋暮れて一水白し夕雲雀　矢川
低い山ばかり並びぬ揚雲雀　同
舩に指呼する島や燕　霞ご
店飾に輝な灯や春の雨　鐵騎
講堂に遂供贄る子供哉　六葉

讀者の領分

…元町治町二丁目にて町山に…開部の支配なしてゐられた人は只今どちらに居りませうか御存じの御方は本欄まで(第二師生)▲水原城内の某私立學校の○○さいふ先生は生徒が一寸後ろを見て一段面白入らしい修行をなさいます(悪者生)▲明治町の○○の娘さんは毎日西大門の或る下宿屋へ日參はお熱し申し上げます旭町の女▲京城の旅人▲紙上に和歌、短編小説等を掲載して下さいませんか何度生▲大正五年三月郭近水原農林學校に入られた小野川さんといふ人の所在御存じの御方は本欄迄御知らせ下されたし(守子殿生)

新刊紹介(到着順)

▲山東公論記念號(青島) 膠州に於ける操觚界の重きとして聲名高かりし小川天籟氏の經營に係るもの這回創刊一週年を迎へて記念號を發行す一週年間に於ける苦心と將來の抱負理想等は天籟氏の「迎一週年」の辭に依りて遺憾なく盡さる若し夫れ聲義内容に至りては勇潤自ら氣を負うて山東の一角に叱咤し大陸經營の爲め萬丈の氣焔を揚げつゝある氏に取りては如何なる問題に非ざるべく帝國の大陸經營日を追うて急を告ぐるの秋に於て輿論を指導し民心の歸趨を促がすべき言論機關の新聞は啻に人世に處し…にして評者は衷心より本誌の發展を祈りて已まざるものなり(二十錢月二回發行 濟南 南埠山東公論社)

▲料理小説集(吉田麗代編著) 現代大家の小説美文中よりの料理に關する面白き文章を抜き之に一々其解釋を加へ且つ料理法を説明しあるを以、小説の讀者は小説の文章を味はひたる上直ちに其の篇中の料理を調理して其の妙味を味ひ得べく誠に面白き思ひ付きの著書なり且つ卷末にはイロハ索引を附し大抵の料理法を網羅しあるを以て家庭の好參考書なるべし(九十錢 東京本郷駒込林町二の三七三 陽堂)

▲文人式瓶華(天野一笑著) 和装和紙木版刷の古雅なる製本にて初心の者にも解り易き樣盛花盛果投入の優美なる方式五十種を圖示したものなり(一圓 東京京橋區南小田原町二の九 大日本華道會)

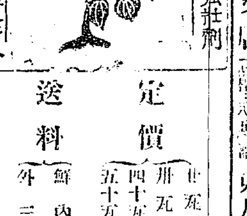
▲早起(山本瀧之助著) 早起の意義、效用、方法を詳述したるもの百數十章面白き早起奬勵の話を滿載す(七十五錢 東京麹町區平河町五 洛陽堂)

名刺 京城 太平堂 電話二七一二番 振替京二三六七番

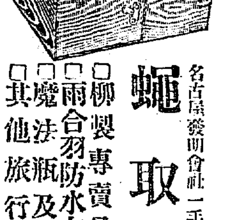
内科 呼吸器病 胃腸病喘息 小兒科 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地 電話一八八〇番
山田病院 院主 山田萬作

榮養ヲ增進シ 精力ヲ旺盛ニス
グリコナール錠
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等ノ滋厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス
百錠金壹圓ニ各藥舖ニ有リ說明書進呈ス
東京寶町 三共株式會社

資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十一萬五百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八・六八一・六三一・四〇七 振替京城
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明
南大門支店 電話西二〇番 振替一六〇六番 平澤支店
本町支店 電話一七二・一五八 振替二五六二番 群山支店
仁川支店 電話八四・二九四 振替一八五三番 東大門出張所

淫羊藿エキス

通稱三枝九葉草エキス
人參に優る滋養強壯劑
定價 廿五入金壹圓 卅五入金壹圓五十錢 四十五入金壹圓九十錢 五十五入金貳圓三十錢
送料 鮮内二錢 外三十錢

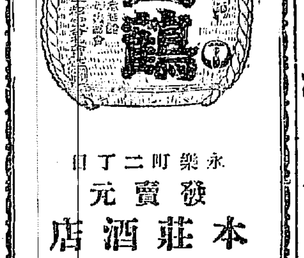
朝鮮兩國人に愛用せられしが産出一地方に限られ高麗人參の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人參を凌駕すとて醫家の重用する所なり然るに如何なる成分が人體に有効なるかは彼の人參と同じく明白ならざるも本劑が殊に効能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり
主効
神經衰弱症・貧血症・腎臟病・肝臟病
胃腸病・生殖器病・リウマチス
ヒステリー・ヒポコンデリー・老衰・精力減退
以上に依り適應症左の如し
(1)精力を盛んにし精神を爽かにし腦力を増し元氣を良くす
(2)思考判斷及記臆力の減耗を癒す
(3)讀書計算の疲勞を癒す
(4)安眠し赤眼の疲れを癒す
(5)筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
(6)消化及便通を良くす
(7)産前産後及病後の衰弱に良し
(8)血の道氣欝症に良し
(9)子なき人に良し
(10)貧血虛弱を癒し容貌を良し手足腰腹の冷ゑるに良し
(11)淋病遺精及子宮病に良し
(12)痳疾に良し
(13)長壽なるべし
全國一手販賣 朝鮮京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社代理部
振替貯金口座京城三〇〇番 電話長六〇九番・同二八六〇番


蠅取器
名古屋發明會社一手販賣
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶
□其他旅行用具一切
高木旅行用具店 京城本町一丁目(電話一二四番)

國末式ペント金庫は進歩せる學理と最新の機械力とに依り製作せられたる國末式ペント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の壓壞に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす

國末金庫店
内閣諸官省御用 金庫製作所
東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東一九九〇三
△寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候

外科 皮膚科 醫院 瀬戸
京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番
醫學士 瀬戸 潔

優等清酒

一鶴
發賣元 永樂町二丁目 本荘酒店 電話六二〇 振替京城四五

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 櫻正宗發賣元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五一番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社 十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

りん病ばい毒 患者諸君

近來京城其他各地に於てドラツグの名を冒せる模倣品あれ當京城には以外にドラツグ商會と稱するものあらば全く詐欺漢なり
本舗大阪 ドラツグ商會
花柳病專門藥房 京城南大門外 ドラツグ商會 朝鮮總發賣
京城龍山各地に僞物有御注意 詳細は昨日の本紙を御覧

花柳病 外科 專門
909
梅毒 淋病 痔瘻 皮膚病 婦人病 神經衰弱 ヒステリー
京城南大門通蓮池洞 司生堂醫院 電話三〇六五番

最新刊
文章軌範 大町桂月 一、五〇
時局に關する第十二回帝國教育會 二七
世界童話集 各 一、三〇
エレーン シヤロツト 太田黒克雄 一、五〇
新春 德富健次郎 定價一圓六十錢
…

天然生活法
京城本町 大阪屋號 電話六九四番 振替京城一八六三番
(本店東京 同店大連・旅順・鐵嶺・釜山)

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸、大阪行
△日清丸 六月八日 午前五時出
清津行
宮島丸 五月廿四日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 五月廿三日 後九時出
上海、基隆、打狗行
湖北丸 六月 日
基隆丸 五月廿九日 後四時出
大連出帆
内地各港出帆主要航路
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回
御注意 …
京城 切符發賣所 …
仁川支店 …

日本郵船出帆
大連行、天津行 五月二十日 正午出帆
相模丸 六月九日
三河丸 五月三十日
高砂丸
堀回漕部

尼崎汽船部出帆
仁川木浦、釜山下關、大阪行
神代丸 五月十八日後四時
秀吉丸
君代丸 五月廿四日後四時
大有丸
…

共同汽船出帆
大連直行 二十一日 入二十三日
二十六日 共同丸 五月廿二日
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目 電話

朝鮮郵船出帆
多島海行
慶興丸 五月廿二日 木浦發
木浦行
晋州丸 五月二十日 仁川發
濟州行
江原丸 五月廿三日 仁川發
錦江丸 毎日 仁川發
鎭南浦行
宗信丸 五月廿一日 鎭南浦發
木浦麗水線
順天丸 五月二十日
東海岸線
東廻慶州丸 五月廿六日
濟州島行 木浦發
釜山浦項線
江陵丸 毎日 釜山發
金剛山遊覽便
關門行
摩耶山丸 五月廿六日 元山發
忠清丸 五月廿九日 釜山發
京畿丸 五月廿五日 釜山發
成鏡丸 五月二十日 元山發
元山雄基線
穏城丸 五月廿二日 元山發
大阪行
平安丸 五月廿四日 元山發
雄基行
山陽丸 五月卅一日 元山發
敦賀行
平壌丸 五月二十七日 清津發
本社 京城南大門通 電話一九五
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店
京城驛前 松原運送店
(其他各沿岸地ニ荷客取扱店アリ)